



RM6503/RM7503/RM8603

インタラクティブ フラットパネル
取扱説明書



免責

BenQ Corporation は本書の内容について、明示または暗示に関わらず、いかなる責任も保証も行いません。BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

HDMI 商標についてのおことわり

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



著作権

Copyright 2021 BenQ Corporation。All rights reserved。本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

製品サポート

本書は、最新かつ正確な情報を提供することを目的としておりますので、事前通知なく時々内容が更新される場合があります。本書の最新版とその他の製品情報は、ウェブサイトをご覧ください。提供されるファイルは、モデル毎に異なります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. www.BenQ.com からお住まい地域のウェブサイトをご覧ください。ウェブサイトのレイアウトと内容は、地域 / 国によって異なります。
 - ユーザーマニュアルと関連ドキュメント: www.BenQ.com > **ビジネス > サポート > ダウンロード > モデル名 > ユーザーマニュアル**
 - (EU 地域向けのみ) Dismantled information: ユーザーマニュアルのダウンロードページをご覧ください。このドキュメントは、製品の修理または再利用に関する規制 (EU) 2019/2021 をもとに提供されています。保証期間内の修理については、必ずお近くのカスタマーサービスにお問合せください。保証期間が終了した製品の修理については、BenQ のサポートセンターへお問い合わせください。分解、あるいはそれに類する行為により発生した結果について責任を負えない場合は、絶対に本製品を解体しないでください。製品について情報が見つからない場合は、お近くのカスタマーサービスまでお問合せください。

目次

製品サポート	3
安全のために	6
安全のためのご注意	7
本製品に関するご注意	7
この電子黒板の LCD パネルに関するご注意	7
リモコンについてのご注意	8
電池についてのご注意	8
BenQ ecoFACTS	9
同梱品	10
電子黒板の設置	11
電子黒板の取り付け	11
外部 PC の接続	12
電子黒板のパーツとその機能	14
フロントパネル	14
出 / 入力端子	16
リモコン	18
リモコンの使い方	19
接続	22
VGA 入力の接続	22
タッチケーブルの接続	23
デジタル入力の接続	24
ビデオ出力に接続	25
シリアル ポートに接続	26
電源に接続	27
基本的な操作	28
電子黒板の電源のオン / オフ	28
初期設定	29
OSD 設定	29
入力ソースの切り換え	29
インターネット接続の設定	33
ソフトウェアの更新	34

音量の調整.....	35
タッチ画面の使い方.....	36
タッチ画面の使用上の注意.....	38
メニュー操作.....	39
ワンタッチメニュー操作.....	39
設定メニュー.....	39
システム設定.....	48
Android システムのインターフェイス.....	52
ホーム画面.....	52
サイドツールバー.....	53
注釈ツール.....	54
AMS ファイルマネージャの概要.....	55
InstaShare 2.....	64
製品情報.....	65
仕様.....	65
寸法 (RM6503).....	70
寸法 (RM7503).....	71
寸法 (RM8603).....	72
対応する入力信号解像度.....	73
トラブルシューティング.....	74

安全のために



三角形の中に稲妻矢印が付いた記号は、製品のエンクロージャの中に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、人間が触れると感電する危険性があることを警告しています。



三角形の中にエクスクラメーションマークが付いた記号は、製品に付帯された文書に重要な操作および補修に関する説明が記載されていることを意味しています。

本機は必ず接地してください
安全にご使用いただくために、3ピンプラグは必ず標準の家庭配線を介して、正しく接地された標準の3ピンコンセントに繋いでください。本機に繋ぐ延長コードは、接地するために3芯でなければならず、正しく配線されていなければなりません。正しく配線されていない延長コードをご使用になると、重篤なケガの原因となる場合があります。

機器が正常に作動しているからと言ってコンセントが接地されている、あるいは設置状況が完全に安全であるということにはなりません。お客様の安全のために、コンセントが正しく接地されているかどうかお分かりにならない場合は、専門の電気技師にお尋ねください。

- 電源コードのメインプラグは、すぐに使用できる状態になっていなければなりません。AC コンセント（本線コンセント）が本機の近くにあり、容易に手が届くようになっていなければなりません。AC 本線からこの機器を完全に外すには、AC コンセントから電源コードを抜いてください。
- この電子黒板は床が平坦でない場所、斜めになっている場所、あるいは不安定な場所（ワゴンの上など）に置かないでください。落下して故障したり、ケガの原因となったりします。
- この電子黒板は、スパやプールなどの水場の近くや、開いた窓から雨が吹き込んでくるような、水が飛んでくる場所に設置しないでください。
- 閉じられたキャビネットなど、適切に通気されていない密閉した場所にこの電子黒板を設置しないでください。内部の熱を逃すために、電子黒板の周囲には適度な空間を空けてください。電子黒板の排気口や通気口を塞がないでください。過熱すると、事故や電気ショックの原因となります。
- この電子黒板は専門の技術者に設置を依頼してください。この電子黒板は適切に設置しなければ、ケガや故障の原因となります。本機が常に最高の状態で機能するように、設置規制についてご確認いただき、定期的にお手入れをなさってください。
- この電子黒板を取り付ける際は、付属されているアクセサリか、メーカーが推奨するアクセサリだけをお使いください。不適切なアクセサリを使いになると、電子黒板が落下して重大なケガの原因となります。電子黒板の重さを支えられるか確認するために、設置面と固定ポイントが十分強度があるか確認してください。
- 電気ショックのリスクを除去するために、カバーは外さないでください。本機の内部には、お客様ご自身で補修できるパーツはありません。点検修理については、認定サービス担当者にお問い合わせください。
- ケガを防止するために、ご使用前に電子黒板を取り付ける必要があります。

安全のためのご注意

1. これらの説明をよくお読みください。
2. これらの説明は大切に保管してください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この装置を水場の近くで使用しないでください。
6. お手入れする場合は必ず乾いた布で拭いてください。
7. 通気口を塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、電気ストーブ、ストーブ、その他の発熱性の製品（アンプを含みます）などの熱源の近くに設置しないでください。
9. 分極されたプラグ、または接地タイプのプラグの安全機能を除去しないでください。分極されたプラグには2つの刃があり、1つはもう片方よりも幅が広がっています。接地タイプのプラグには2つの刃があり、3つ目は接地用の突起です。幅の広い刃と3つ目の突起は、お客様の安全を考慮して提供されているものです。付属のプラグがお客様のコンセントに合わない場合は、電気技師にコンセントの交換を依頼してください。
10. 電源コードは人が踏んだり、プラグ、コンセント、機器からコードが出ている部分が挟まったりしないようにしてください。
11. 製造元が指定するアクセサリのみご使用ください。
12. 製造が指定した、あるいは製品と一緒に販売されていたカートスタンド、三脚、ブラケットをご使用ください。カートに本機を載せて動かす場合は、本機が落下してケガをしないように注意してください。
13. 落雷時、または長期間使用しない場合には本機をコンセントから外してください。
14. 補修についての詳細は、専門のサービス担当者にお尋ねください。電源コードやプラグが破損している、液体が本器の上にこぼれた、内部に異物が入った、本機が雨または水滴に濡れた、正常に作動しない、落としたなど、何等かのダメージが見られる場合は、補修が必要となります。



本製品に関するご注意

- ケガをする危険性がありますので、電子黒板をお一人で持ち上げないでください。
- 電子黒板を移動させる場合は必ず4人以上で行うか、カートをご利用ください。
- 電子黒板はできるだけ水平に維持してください。
- 開梱する際は、平坦な場所で行ってください。

この電子黒板のLCDパネルに関するご注意

- この電子黒板のLCDパネルには非常に薄いガラスの保護膜が貼ってあり、叩いたり、強く押しついたりしてもキズや痕、破損から電子黒板を保護します。液晶基板も強く押しついたり、高温や低温の環境でもダメージに強くなっています。お取り扱いには十分ご注意ください。
- LCDパネルの反応時間と明るさは、周囲の温度によって変わります。

- ・電子黒板を直射日光が当たる場所に設置したり、直射日光やスポットライトがLCDパネルに当たる場所に設置すると、熱でパネルや電子黒板の外部ケースが破損したり、明るすぎる照明によって電子黒板が見にくくなったりする場合があります。
- ・LCDパネルは個々のピクセルで画像を構成し、デザイン仕様に基づいて製造されています。ピクセルの99.9%は正常に機能しますが、0.01%のピクセルが常に点灯していたり(赤、青、緑)、消えたりしている状態になる場合があります。これはLCDテクノロジーの技術的限界であり、欠陥ではありません。
- ・プラズマ(PDP)や従来のCRT(Cathode Ray Tube)スクリーンなどのLCDスクリーンには、固定された線や影が画面に表示されるなど、「画面の焼き付き」や「残像」なども見られます。このようなダメージを防止するには、静止画(OSDメニュー、TV局のロゴ、固定されたテキストやアイコン)を30分以上表示したままにしないでください。時には縦横比を変えてください。画面いっぱい画像を表示し、できるだけ黒いバーが映らないようにしてください。長時間画像を16:9の縦横比で表示すると、画面に2の本線が焼付く場合があります。
注意：場合によっては、カバーガラスの内側に結露が生じる場合がありますが、これは自然な現象であり電子黒板の性能には問題ありません。この結露は、通常操作を始めてから2時間程度で消えます。
- ・RPシリーズには残像機能がありません。詳細は、インストールガイドをご覧ください。静止画を表示したい場合は、**ピクセルシフト**を有効にしてください。詳細は、[46ページの「詳細設定」](#)を参照してください。
- ・RPシリーズは縦型使用に対応していません。縦型に使用すると、電子黒板の故障の原因となります。BenQは、誤った使用が原因の故障については保証しません。

リモコンについてのご注意

- ・リモコンを熱源や湿度の高い場所、火の近くに置かないでください。
- ・リモコンを落とさないでください。
- ・リモコンを水の中に落としたり、濡らしたりしないでください。故障の原因となります。
- ・リモコンと製品のセンサーの間に物を置かないでください。
- ・長期間リモコンをお使いにならない場合は、電池を抜いておいてください。

電池についてのご注意

電池は正しいタイプのもを使用しなければ、液体が漏れだしたり、爆発したりすることがあります。次の点にご注意ください。

- ・電池は極性に注意し、電池カバーの内部に示されている方向に正しく挿入してください。
- ・電池はそれぞれタイプによって特性が異なります。異なるタイプの電池を同時に使用しないでください。
- ・古い電池と新しい電池を同時に使用しないでください。古い電池と新しい電池を同時に使用すると、電池の寿命が短くなったり、古い電池から液体が漏れたりする場合があります。
- ・電池に不具合がある場合は、直ちに交換してください。

- 電池から漏れた液体が肌に付着すると、かぶれの原因となります。電池から液体が浸出した場合は、すぐに乾いた布で拭き、できるだけ早く電池を交換してください。
- 保管状況が異なるため、製品に同梱されている電池の寿命は短くなっている場合があります。初めてお使いになったときから3か月以内に交換してください。
- 電池の破棄または再利用については、お住まい地域の条例に従ってください。条例をご確認になるか、処理業者にお問い合わせください。

BenQ ecoFACTS

BenQ has been dedicated to the design and development of greener product as part of its aspiration to realize the ideal of the “Bringing Enjoyment 'N Quality to Life” corporate vision with the ultimate goal to achieve a low-carbon society. Besides meeting international regulatory requirement and standards pertaining to environmental management, BenQ has spared no efforts in pushing our initiatives further to incorporate life cycle design in the aspects of material selection, manufacturing, packaging, transportation, using and disposal of the products. BenQ ecoFACTS label lists key eco-friendly design highlights of each product, hoping to ensure that consumers make informed green choices at purchase. Check out BenQ's CSR Website at <http://csr.BenQ.com/> for more details on BenQ's environmental commitments and achievements.

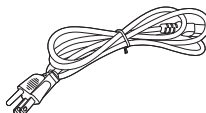


同梱品

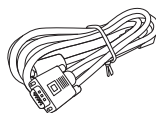
箱を開けて、同梱品を確認してください。欠損しているものがあつた場合には、すぐにお買い上げになつた販売店にお問い合わせください。



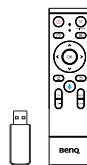
電子黒板本体



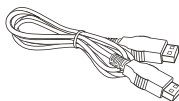
電源コード
(地域別)



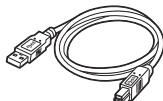
VGA ケーブル × 1



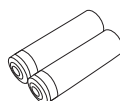
2.4GHz リモコン
およびハード
ウェアキー



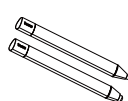
HDMI ケーブル
× 1



タッチ USB
ケーブル × 1



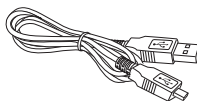
単 4 電池 × 2
(地域別)



タッチペン × 2



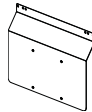
クイック
スタートガイド



USB Type-C
ケーブル × 1



壁掛け金具 × 1



スチールパッド
× 1



- 付属の電源コードのタイプは、製品を購入された地域によって図に記載されているものとは異なる場合があります。
- 梱包材を破棄する前に、箱の中に何も入っていないか確認してください。
- 梱包材は環境に配慮して処分してください。段ボール箱は再利用できます。梱包材は、将来電子黒板を移動する必要がある場合に備えて保管されるようお勧めします（可能な場合）。
- ビニール製の袋は、お子様の手が届かない場所に保管してください。

電子黒板の設置

電子黒板の取り付け

この電子黒板は、壁掛け金具を使って壁に取り付けることができます。設置する際は、次の点にご注意ください。

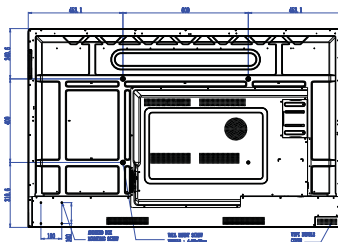
- この電子黒板は、2人以上の大人の方が設置してください。1人で設置するのは非常に危険であり、ケガの原因となります。
- 設置については、専門の技術者にお尋ねください。適切に設置しなければ、電子黒板が落下したり、故障の原因となったりします。

壁への取り付け

1. 平坦で、周りに何も無い水平な床の上に、清潔で乾いた毛羽立ちのない布を敷いてください。布のサイズは電子黒板よりも大きい物を用意してください。
2. 電子黒板を下向きにして、布の上にゆっくりと置きます。
3. 安定性に関するご注意：電子黒板が落下すると、大けがまたは死亡する危険性があります。これらを防止するために、設置手順に基づいて電子黒板をしっかりと壁に固定する必要があります。

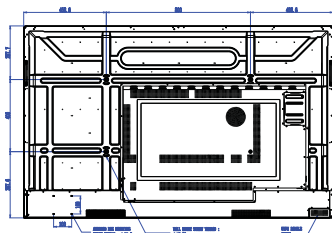
RM6503

* ネジタイプ：M8*20L



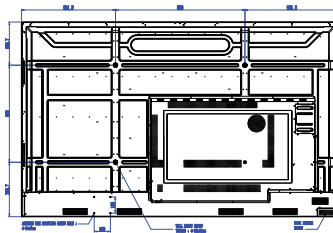
4. 電子黒板の裏側にある壁掛け金具/スタンド用のネジ穴がありますので、図を参考にその位置を確認してください。

RM7503 * ネジタイプ：M8*20L

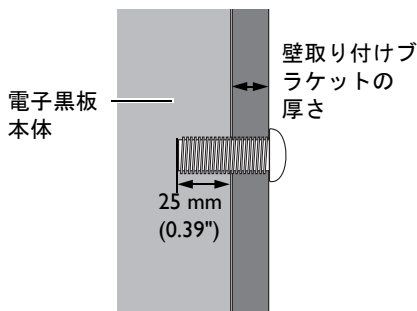


RM8603

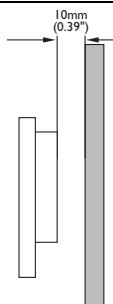
* ネジタイプ：M8*20L



5. 電子黒板に壁掛け金具を取り付けて、壁掛け金具の説明に従って電子黒板を壁に掛けます。ネジの長さは壁取り付けブラケットの厚さよりも最低 25 mm は長くなければなりません。すべてのネジがしっかりと締められているか確認してください。(推奨トルク：470 - 635N m)。取り付け方式は、電子黒板の重量に耐え得る強度がなければなりません。



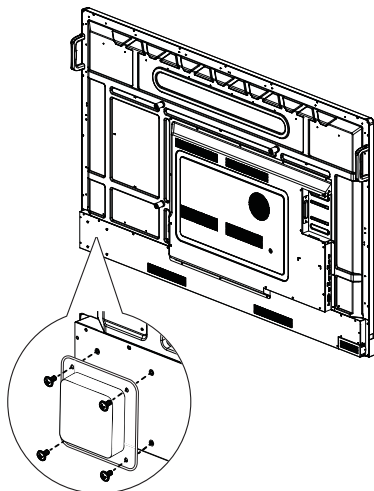
- 適切な通気を保つために、電子黒板の裏カバーと壁の間を 10 mm 以上空けてください。
- 壁取り付けの手順については、専門の技術者にお尋ねください。専門の技術者以外の方が行った取り付けの場合、落下などの危険性があります。



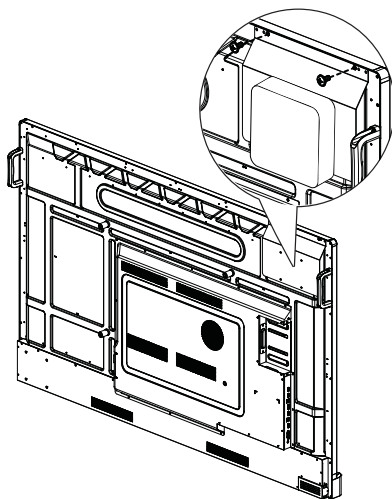
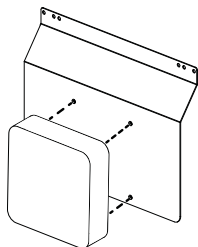
外部 PC の接続

次のいずれかの方法で、外部 PC と電子黒板を接続することができます：

- 電子黒板の背面には、左下部に VESA マウント 100x100mm サイズの 4 つのネジ穴があります。4 つのネジを使って PC と電子黒板を固定してください (最大トルク：4-5 kgf-cm)。

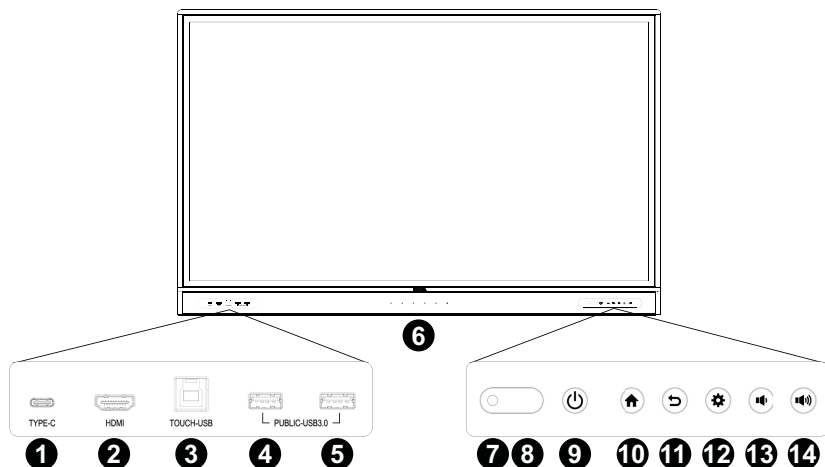


- 同梱品には VESA マウントに対応するスチールパッドが含まれています（寸法：100x100mm）。4 個のネジでスチールパッドを外部 PC に固定し、2 個の M3x6 ネジでスチールパッドが固定された PC を電子黒板の右上部に取り付けます（最大トルク：4.5 kgf-cm）。



電子黒板のパーツとその機能

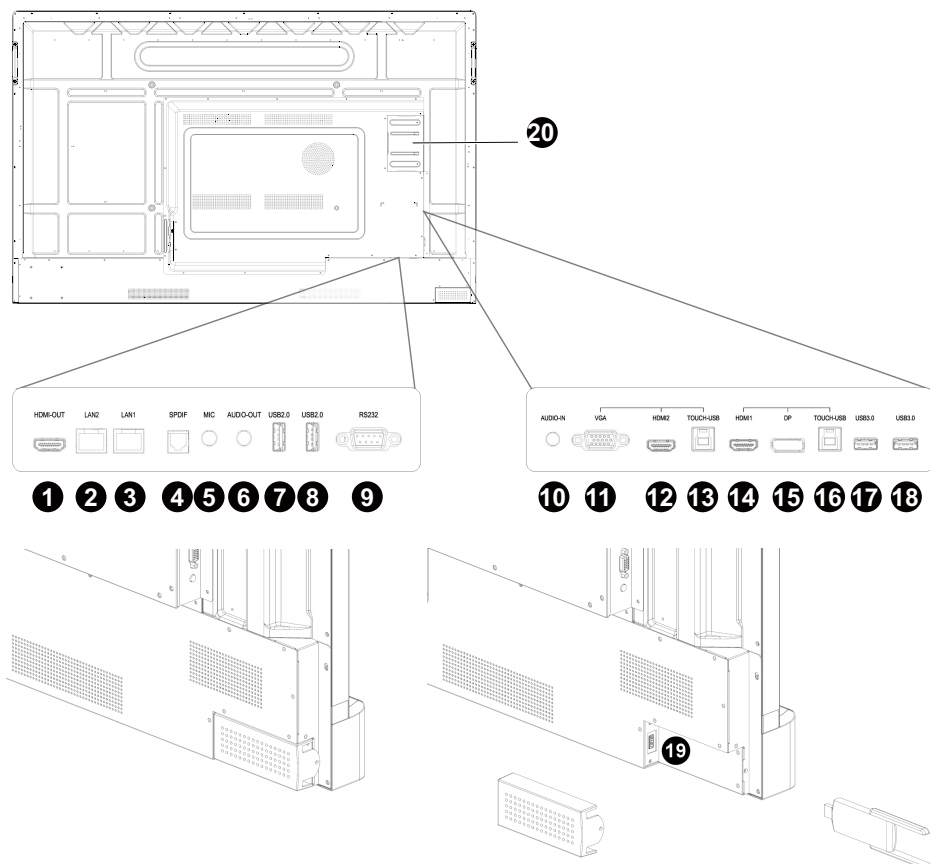
フロントパネル



番号	名称	説明
①	TYPE-C	USB Type-C。電子黒板、オーディオ、タッチ、充電デバイスと接続します。データ転送は非対応です。
②	HDMI	HDMI 信号入力用です。HDMI 出力を備えた PC、セットトップボックス、その他のビデオデバイスに接続します。タッチ機能に対応するには、別途タッチ用 USB ケーブルで接続する必要があります。
③	TOUCH-USB	外部コンピュータからのタッチ信号入力に対応しています。外部コンピュータに接続する場合は、外部コンピュータのビデオとオーディオ信号の他にも、相当するポートを介して外部コンピュータの USB ポートも対応するタッチポートに接続する必要があります。ドライバをインストールすると、外部コンピュータをディスプレイ上でのタッチジェスチャで操作することができるようになります（デフォルトにより、HDMI チャンネルではタッチ機能が有効になります）。
④	USB 3.0	キーボード、マウス、USB メモリなどの USB デバイスを接続します。
⑤	USB 3.0	
⑥	マイク	電子黒板の周囲の音声を受信します。
⑦	環境光センサー	電子黒板の周囲の環境光を検出します。
⑧	赤外線受光部	リモコンからの赤外線を受信します。受信を妨害しないでください。

番号	名称	説明
9	電源ボタン	短く押すと、スリープモードに入ります。4 秒以上押し続けると、電源が切れます。
10	ホームボタン	ホーム画面に戻ります。
11	戻るボタン	前に戻ります。
12	メニューボタン	設定メニューが表示されます。
13	ボリュームダウンボタン	音量を下げます。
14	ボリュームアップボタン	音量を上げます。

出 / 入力端子



番号	名称	説明
①	HDMI OUT	電子黒板の画面を外部のディスプレイやプロジェクターに出力するための HDMI 出力端子です。
②	LAN2	Android システムでは 10/100 Mbps で動作します。OPS では 10/100/1000 Mbps で動作します。
③	LAN1	
④	SPDIF	外部のスピーカーやオーディオインターフェースと接続するための音声出力用のデジタル端子 (S/PDIF) です。
⑤	MIC	マイクに接続します。
⑥	AUDIO OUT	外部スピーカーまたはイヤフォンに接続します。
⑦	USB 2.0	キーボード、マウス、USB メモリなどの USB デバイスを接続します。
⑧	USB 2.0	
⑨	RS232	シリアル通信用のインターフェースで、コマンド入力による制御用端子です。

番号	名称	説明
10	AUDIO IN	外部デバイスからオーディオ信号を受信します。
11	VGA	外部デバイス（コンピュータなど）からアナログ RGB 信号を受信します。 タッチ機能に対応するには、別途 TOUCH-USB で接続する必要があります。
12	HDMI 2	HDMI 信号入力用です。HDMI 出力を備えた PC、セットトップボックス、その他のビデオデバイスに接続します。タッチ機能に対応するには、別途 TOUCH-USB で接続する必要があります。
13	TOUCH-USB	タッチ信号をパソコンとやり取りするためのポートです。使用にあたっては、映像音声入力信号のポート(*)の接続、および、TOUCH-USB の接続が必要になります。ドライバをインストールすると、外部コンピュータを電子黒板上でのタッチジェスチャで操作できるようになります（デフォルトにより、VGA、HDMI、DP チャンネルではタッチ機能が有効になります）。
14	HDMI 1	HDMI 信号入力用です。HDMI 出力を備えた PC、セットトップボックス、その他のビデオデバイスに接続します。タッチ機能に対応するには、別途 TOUCH-USB で接続する必要があります。
15	DP	DisplayPort インターフェイスを有する PC またはオーディオ / ビデオ機器と接続します。タッチ機能に対応するには、別途 TOUCH-USB で接続する必要があります。
16	TOUCH-USB	タッチ信号をパソコンとやり取りするためのポートです。使用にあたっては、映像音声入力信号のポート(*)の接続、および、TOUCH-USB の接続が必要になります。ドライバをインストールすると、外部コンピュータを電子黒板上でのタッチジェスチャで操作できるようになります（デフォルトにより、VGA、HDMI、DP チャンネルではタッチ機能が有効になります）。
17	USB 3.0	キーボード、マウス、USB メモリなどの USB デバイスを接続します。
18	USB 3.0	
19	USB 3.0	
20	OPS スロット (ポート)	OPS (Open Pluggable Specification) デバイスの設置に対応します。



• USB2.0= 5V ≡ 500mA / USB3.0= 5V ≡ 900mA

• Type C= 20V ≡ 3A、15V ≡ 3A、12V ≡ 3A、9V ≡ 3A、5V ≡ 3A

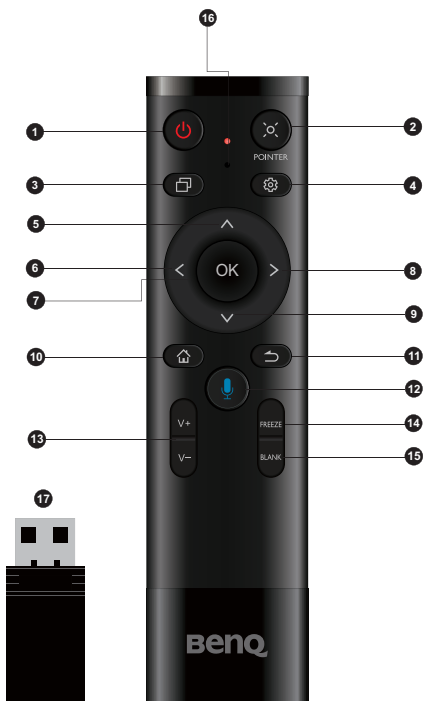
• OPS= 18V ≡ 5A、90W

• ≡ : 直流 /DC

• ~ : 交流 /AC

• USB スロットで使用できるケーブルの最大長は、5m (USB 2.0) および 3m (USB 3.0) です。

リモコン



電子黒板をオン / オフにします。



ポインタキーです。ポインタのサイズやモードの変更が可能です。



タスクスイッチャーを開き、最近のアプリと入力ソースを切り替えます。



メニューを開いたり、閉じたりします。



方向キーです。上を選択します。



方向キーです。左を選択します。



処理を行います。



方向キーです。右を選択します。



方向キーです。下を選択します。



Android システムのホームボタンです。



戻るキーです。



音声コマンドキーです。Saffi (BenQ 音声補助機能) を有効にして、ボタンを 2 秒間押します。次に、サポートされるコマンドを話しかけてください。コマンドを終了してからボタンを放してください。



リモコンの上部部分に埋め込まれているマイクروفオンに向かって話します。マイクروفオンに口を近づけるか、大きい声ではっきりと話してください。



音量を上げる / 下げる。



スクリーンを静止します。



消画のためのキーです。



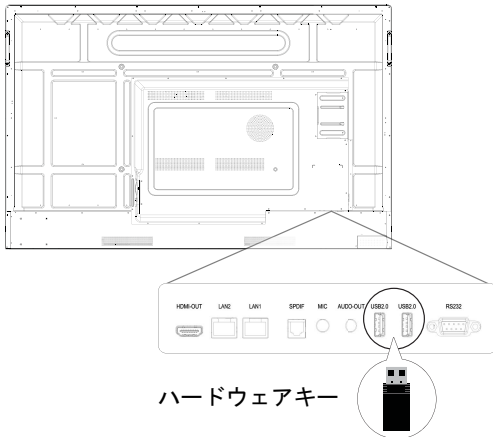
マイクです。



リモコンとペアリングするために同梱されたハードウェアキーです。詳細は、19 ページの「リモコンに関する重要なご注意」を参照してください。

リモコンに関する重要なご注意

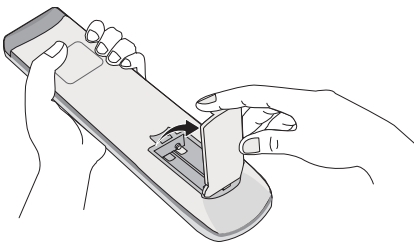
1. このリモコンは特定モデルおよびオペレーティングシステムでしかご使用いただけません。詳しくは、販売店までお問合せください。
2. リモコンのキーは、同梱のハードウェアキーが BenQ インタラクティブフラットパネルに挿入されている場合にのみ機能します。
3. リモコンと同梱されたハードウェアキーは、初期状態ですでにリモコンとペアリングされています。



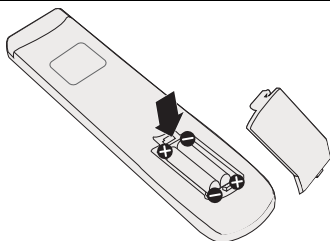
リモコンハードウェアキーは電子黒板の USB ポートに挿入できますが、電子黒板の背面にある USB ポートにハードウェアキーを挿入することをお勧めします。

リモコンの使い方

電池の入れ方



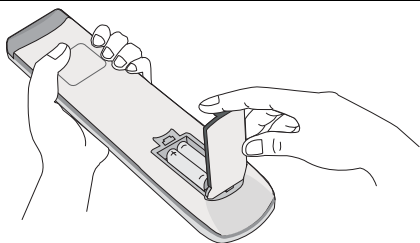
1. リモコンの電池カバーを開きます。



2. 電池の極性に注意しながら、記載されている (+) と (-) の記号に合わせて付属の電池を入れてください。



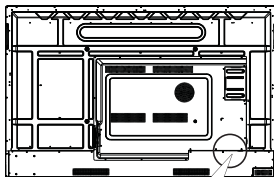
付属の電池は、すぐに電子黒板をお使いいただけるように便宜性を考慮して提供されているものです。早めにご交換ください。



3. 電池カバーを元に戻します。

リモコンで BenQ インタラクティブ フラットパネルを使う

1. 同梱のハードウェアキーを BenQ インタラクティブ フラットパネルの USB ポートに挿入します。



ハードウェアキー



リモコンハードウェアキーは電子黒板の USB ポートに挿入できますが、電子黒板の背面にある USB ポートにハードウェアキーを挿入することをお勧めします。

2. リモコンハードウェアキー接続後、リモコンで電子黒板を操作が可能になります。
3. 各ボタンの機能については、18 ページの「リモコン」をご覧ください。

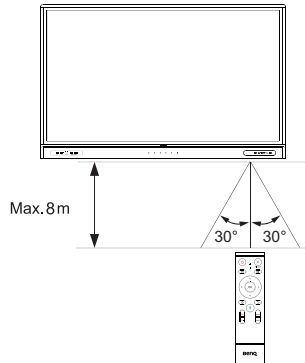
リモコンと同梱のハードウェアキーをペアリングする

リモコンのキーを使用できない場合は、再度リモコンとペアリングしてみてください。

1. ハードウェアキーを電子黒板の USB ポートに挿入し、近くにリモコンを置きます。
2. **V-** と **BLANK** を同時に押すと、表示灯が点滅します。
3. 表示灯の点滅が止まったらペアリングが完了したことを意味します。

リモコンの使用についてのヒント

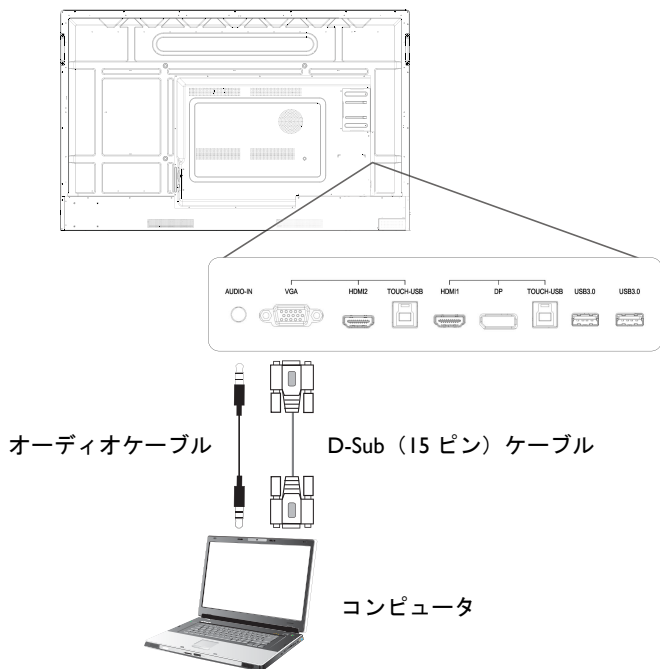
- 電子黒板の電源をオン/オフするには、リモコンの正面を電子黒板のリモコン赤外線受光部に直接向けて、ボタンを押します。
- リモコンを濡らしたり、湿度の高い場所（風呂場など）に置いたりしないでください。
- 電子黒板のリモコン赤外線受光部に直射日光や強い光が当たっている場合は、リモコンが正しく作動しない場合があります。このような場合は、光源を変えたり、電子黒板の角度を調整し直したり、電子黒板のリモコン赤外線受光部に近づいて操作したりしてみてください。



接続

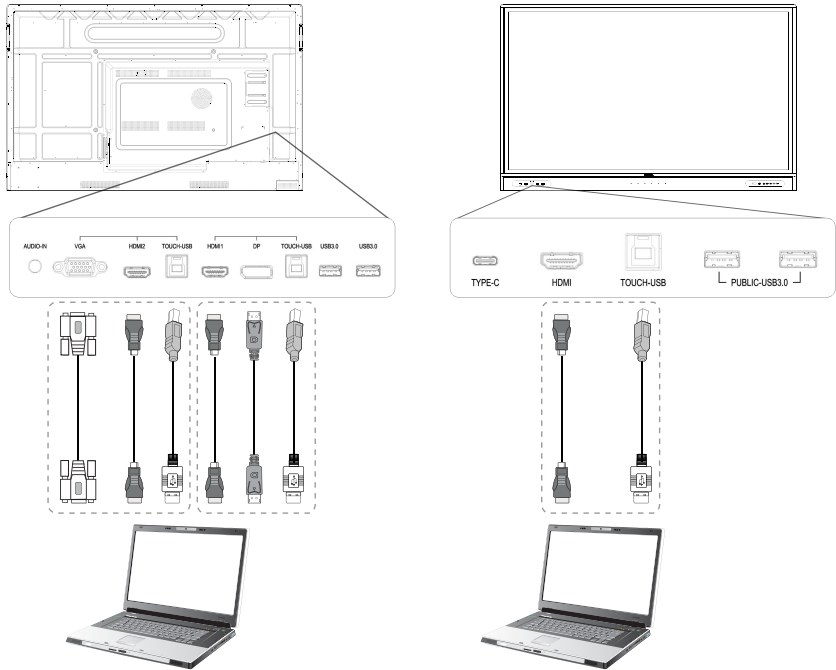
VGA 入力の接続

1. D-Sub (15 ピン) ケーブルを使って、電子黒板の **VGA** ポートをコンピュータの VGA 出力ポートに接続します。
2. 適切なオーディオ ケーブルを使って、コンピュータのオーディオ出力ジャックと電子黒板の **AUDIO IN** ジャックを接続します。




タッチケーブルの接続

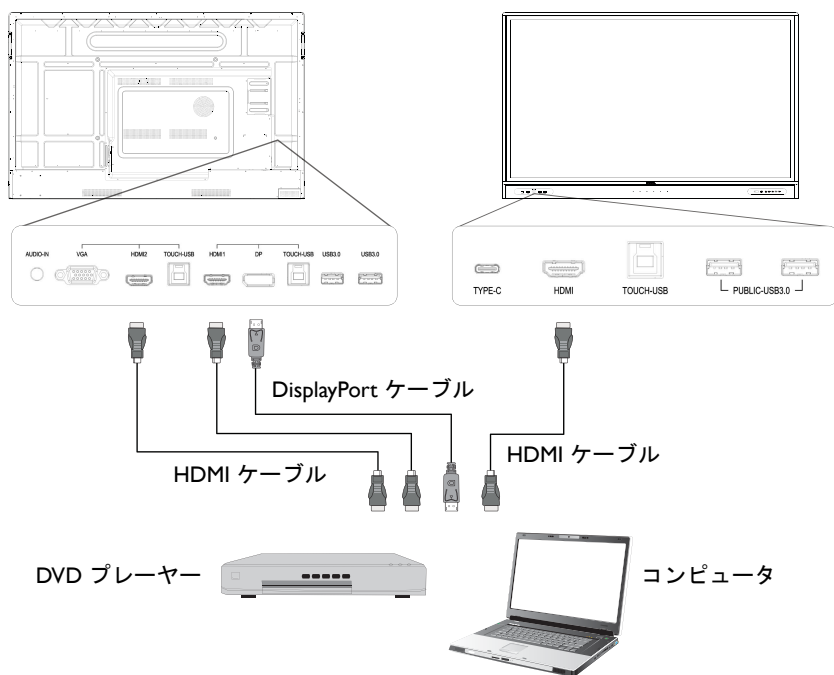
電子黒板の **TOUCH-USB** ポートとコンピュータの USB ポートを、付属の USB ケーブルを使って接続し、対応する電子黒板の入力ポートと **TOUCH-USB** ポートを接続してコンピュータの映像出力ポートと USB ポートに接続します。電子黒板のタッチ機能は、簡単なプラグ・アンド・プレイ操作に対応しています。コンピュータに追加ドライバをインストールする必要はありません。



- タッチ モジュールを初期化するときには、タッチスクリーンのフレームを塞がないようにしてください（センサーがある位置）。
- 電子黒板は PC かノートパソコンに直接接続するよう強くお勧めします。USB ハブ等の接続を仲介するデバイスが存在する場合タッチ操作が上手く作動しない可能性があります。
- 残像が残る場合は、一旦すべての USB ケーブルを外した後、再度接続してみてください。残像が消えない場合は、別の USB タイプ B - A ケーブルをお使いください。


デジタル入力の接続

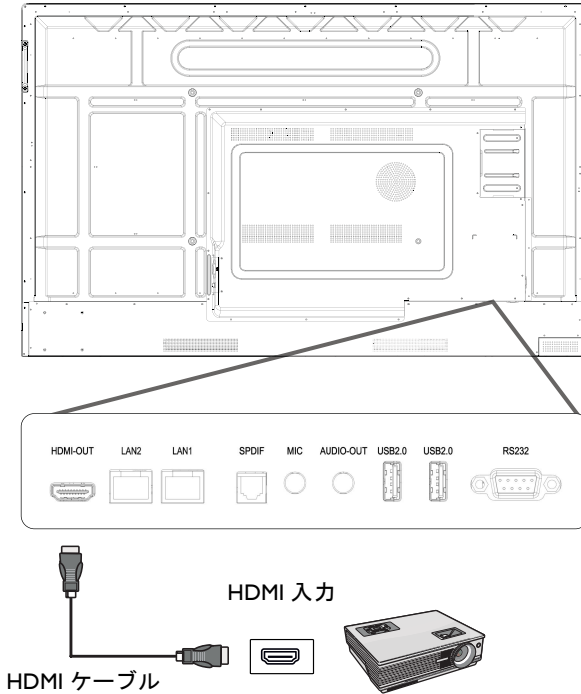
1. HDMI ケーブルまたは DisplayPort ケーブルを使って、コンピュータまたは A/V デバイス（セットトップボックスや DVD プレーヤーなど）の HDMI ポートや DisplayPort 出力ポートを電子黒板の **HDMI** または **DP** 入力ポートに接続します。
2. この入力からの映像に切り替えるには、リモコンの  を押して対応する入力ソースに切り替えます。



- 該当するケーブルは付属しませんので、別途ご購入ください。
- デュアルモニタモードを選択できます。

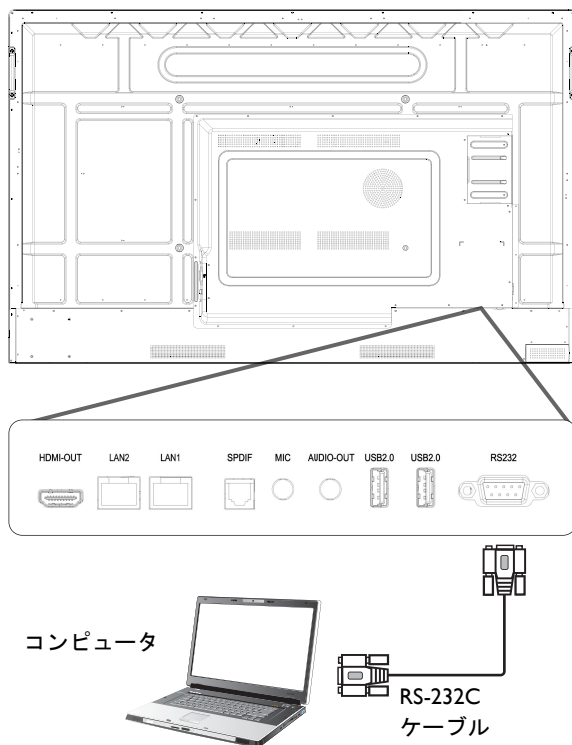
ビデオ出力に接続

1. HDMI ケーブルを使って **HDMI OUT** ポートとデバイスに装備された対応する入力ポートを接続します。
2. 電源コードを繋ぎ、電源を入れます。
3. リモコンの  を押すと、電子黒板の電源がオンになります。。



シリアルポートに接続

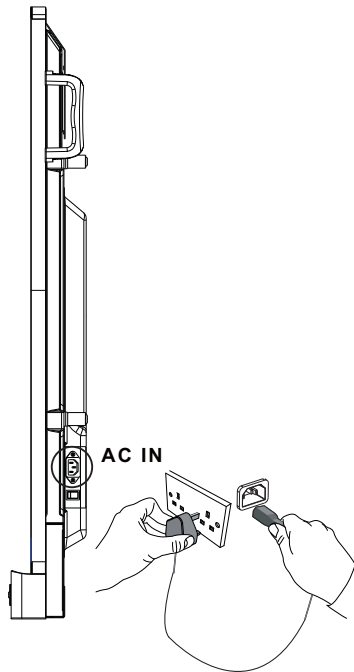
コンピュータを出/入力端末の **RS232** ポートに直接接続します。



- 該当するケーブルは付属しませんので、別途ご購入ください。
- この接続は、RS-232C ケーブルを使用する場合にしか該当しません。
- シリアルポートを使って端末に接続した後は、マシンのオン/オフ、音量調整など、マシンの特定の機能は端末を介して操作できるようになります。

電源に接続

電源コードを電子黒板の電源端子に繋ぎ、それからコンセントに繋がします。
(電源コードを繋いだ後に、電源スイッチをオンにしてください。)

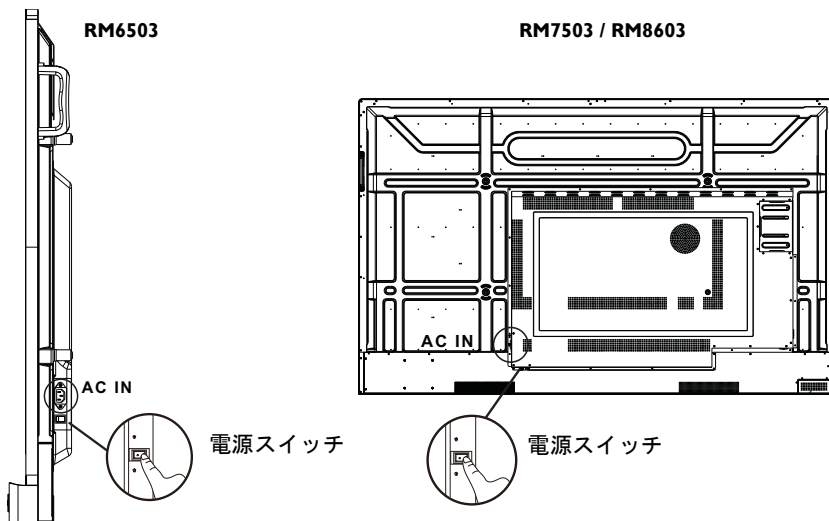


- 付属の電源ケーブルは、100-240V AC 電源専用です。
- 図の電源コードとコンセントは、お客様の地域でお使いのものとは異なる場合があります。
- 電源コードはお住まい地域に合った適切なものをお使いください。壊れたり、摩耗したりした電源コードを使用したり、電源コードのプラグタイプを変えたりしないでください。
- 延長コードや複数の電源タップをご使用になる場合は、電力の負荷量にご注意ください。
- この電子黒板には、お客様ご自身で修理できるパーツはありません。絶対にネジを外したり、カバーを外したりしないでください。本体内部には危険な電圧が流れています。電子黒板を移動する場合は電源を切って、電源コードを抜いてください。
- 図は参照用としてお使いください。

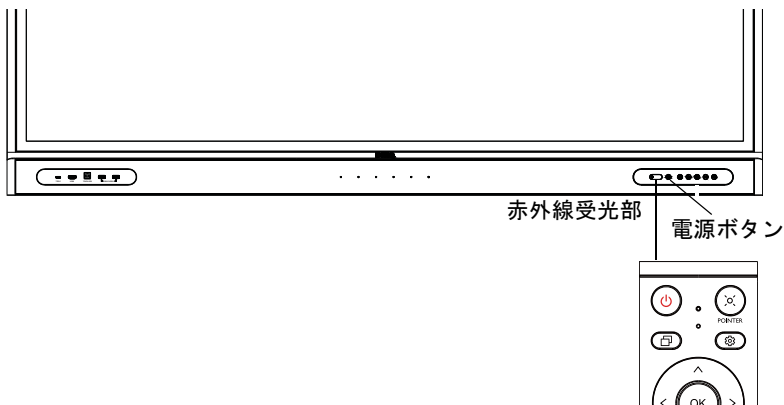
基本的な操作


電子黒板の電源のオン/オフ

1. 27 ページの「電源に接続」の指示に従ってください。
2. 電子黒板の電源を入れる前に、電源スイッチがオンになっているか確認してください。電源スイッチをオンにしたあとは自動的にスタンバイモードに入ります。



- 電子黒板の電源をオンにするには、前面パネルかリモコンの**電源ボタン**を押します。
- 電子黒板の電源をオフにするには、前面パネルかリモコンの**電源ボタン**を押します。システムは自動的にスタンバイモードに入ります。



 電子黒板はスタンバイモードでも電力を消耗します。電源を完全に切るには、電源スイッチをオフ (O) の位置に合わせて、コンセントから電源コードを抜いてください。


初期設定

電子黒板の電源を初めて投入すると、初期設定画面が開きます。画面の指示に従うか、次の手順に従い設定を開始してください。

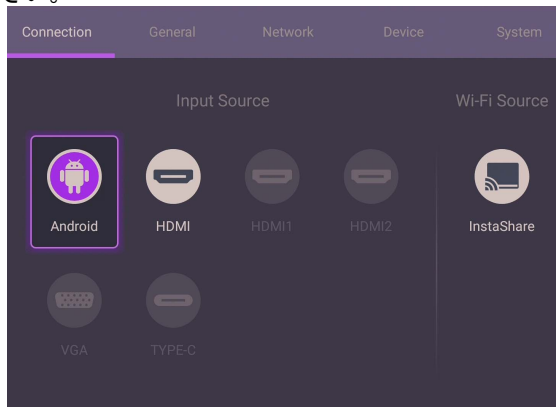
1. 電子黒板の電源を入れます。電子黒板が BenQ ログが表示され、ロードが行われますので、しばらくお待ちください。この処理には少々時間がかかります。
2. 画面の**次へ**をタップすると初期設定が開始されます。画面の指示にしたがって言語、日付、ネットワークを設定します。または、これらのステップのいくつかは省略して後から設定をすることもできます。

OSD 設定

次のうちいずれかの操作を行い、メニューに入ります。

- リモコンの  ボタンを押します。
- フロントパネルの**メニューボタン**を押します。
- 画面の下中央から上に向けてドラッグします。

OSD メニューおよびそれらの設定については、[39 ページの「メニュー操作」](#)を参照してください。



入力ソースの切り換え

入力ソースは、OSD メニューの中の「**接続**」で選択できます。詳細は、[39 ページの「入力切替」](#)を参照してください。

アカウントモード

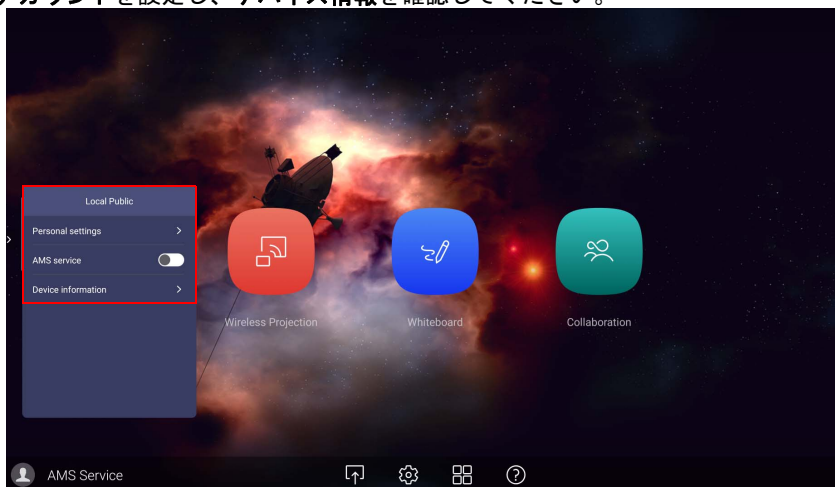
3種類のアカウントがあります：ゲスト、管理者 (Admin)、マルチユーザー。

ゲスト

ゲストアカウントの一般ユーザーです。プロフィール画像、壁紙、音量、輝度を変更できます。

管理者 (Admin)

Adminとしてログインします。**個人設定**では、プロフィール画像、壁紙、パスワードを変更できます。また、**AMS サービス**を有効にして、**有効なオフラインアカウント**を設定し、**デバイス情報**を確認してください。



マルチユーザー

ユーザーとしてログインする前に、Eメールアドレスを正しく入力し、**AMS サービス**を有効化してください。

個人のアカウントにアクセスするには、管理者にAMSサービスを有効にしてもらひ、**IAM**サービスを使ってアカウントを作成する必要があります。詳細は、[31 ページの「ユーザー管理」](#)を参照してください。

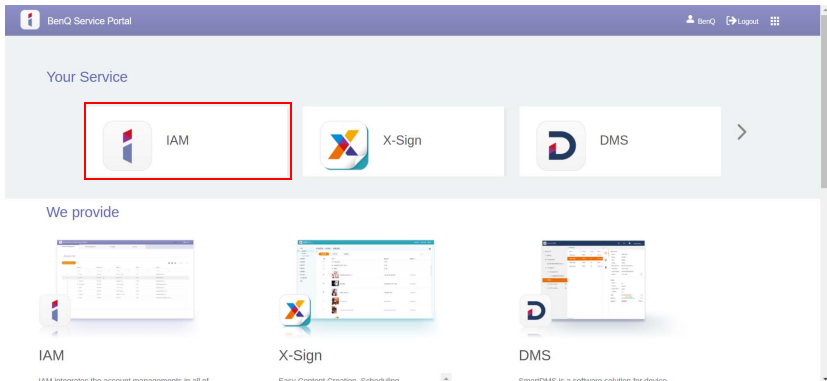
AMSサービスについての詳細およびチュートリアル動画については、<https://www.benq.com/en-us/business/ifp/account-management-system.html>をご覧ください。

ユーザー管理

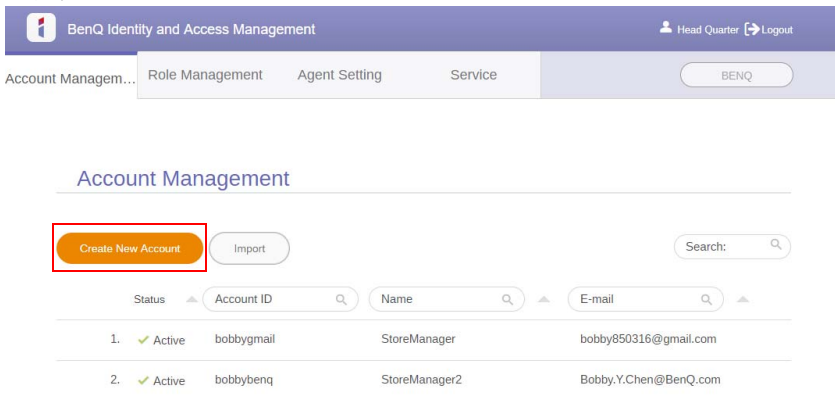
新しいユーザーを追加するには、IT 管理者に BENQ IAM ウェブサービスを使ってアカウントを作成してもらってください。

新規アカウントの作成

1. 管理者が一般ユーザーの新規アカウントを作成するには、BenQ Service ホームページ：<https://iam.benq.com>を開いてください。ご使用になるブラウザは、Chrome および Firefox をお勧めします。
2. ログインして **IAM** を選択します。



3. **新規アカウントの作成**をクリックします。



4. 次の欄を入力してください。E メールアドレスを正しく入力してください。
送信をクリックすると、新しいアカウントを作成できます。



組織の中の一部メンバーが AMS サービスを操作する権限が必要な場合は、その他の役割を持つユーザーとしてアクティベートすることができます。また、ユーザーアカウントを作成するときには、**X-Sign**、**DMS**、**Broadcast** をアクティベートすることもできます。

BenQ Identity and Access Management

Account Management Role Management Agent Setting Service

Create New Account

E-mail

Use email as account ID

Account ID

REMINO: Please do NOT using your personal data to fill the account name. It may increase the risk to reveal you privacy.

Password

Confirm Password

Name

Company BenQ

Country/Area Taiwan

Timezone (UTC+08:00) Taipei

Note within 150 characters

Service Setting

Set this account as substitute administrator, has all of the permissions, two accounts at most

Enable Service	Role	
<input checked="" type="checkbox"/>	X-Sign	Schedule Manager <input type="button" value="Create a new role"/>
<input type="checkbox"/>	DMS	Guest <input type="button" value="Create a new role"/>
<input type="checkbox"/>	AMS	User <input type="button" value="Create a new role"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	Broadcast	



右上隅にあるアイコンをクリックすると、別のサービス、**X-Sign**、**DMS**、**Broadcast** にも簡単に切り替えることができます。

5. アカウントが作成され、作成したアカウントの所有者に認証 E メールが送信されます。

Message ×

The account has been created. We'll send the email from "BenQ". If it isn't in your inbox, check your folders. If a spam filter or email rule moved the email, it might be in the Spam, Junk, Trash, Deleted items, or Archive folder.

インターネット接続の設定

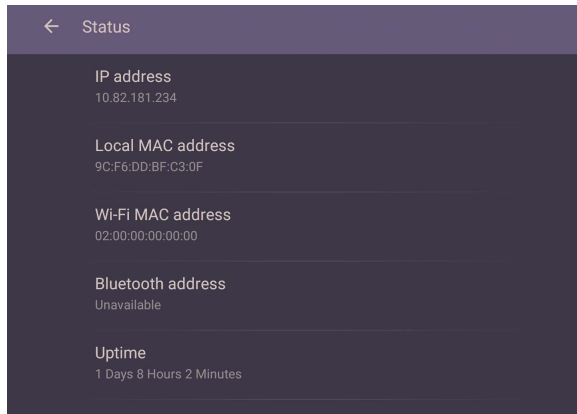
ファームウェアアップデートを実行したり、インターネットを閲覧したりするには、電子黒板をネットワークに接続する必要があります。



Android OS で MAC アドレスを確認するには、**設定 > 対応 OS > バージョン情報 > 状態** を選択します。

ネットワーク設定

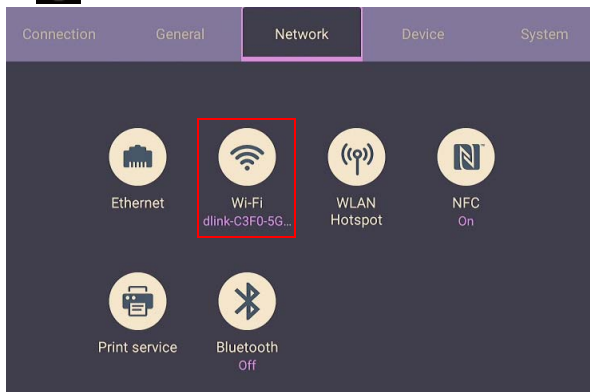
ホーム画面で**設定 > 対応 OS > バージョン情報 > 状態**を選択します。IP アドレスが表示されない場合は、電子黒板にイーサネットケーブルを接続してください。



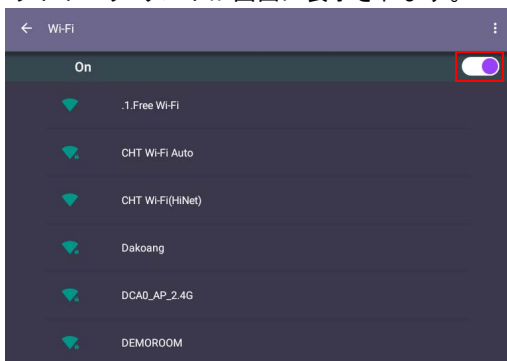
ワイヤレス接続

電子黒板を無線でインターネットに接続するには、オプションの無線 LAN 子機を使用する必要があります。無線 LAN 子機を挿入すると、トグルスイッチが自動的にオンになります。

1. リモコンの  を押すか、**ネットワーク > Wi-Fi** を選択します。



- 無線 LAN 子機を挿入すると、トグルスイッチが自動的にオンになります。使用可能なネットワーク リストが画面に表示されます。



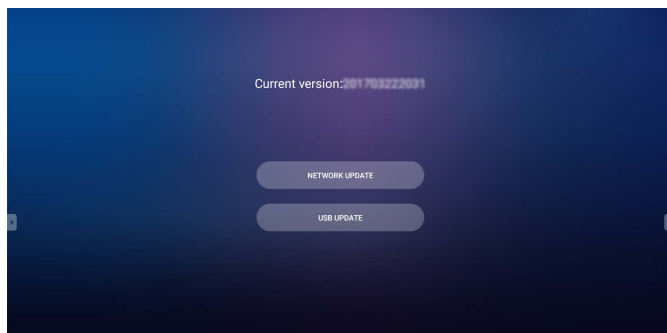
- ネットワークの名前をタッチしてネットワークに接続します。初めてそのネットワークを使用するときには、パスワードを入力する必要があります。パスワードを入力し、**接続**を押します。電子黒板が無線 LAN のネットワークに接続されます。



- 安全なワイヤレスネットワークに接続するときには、そのワイヤレスネットワークにアクセスするためのパスワードを入力し、**接続**をタップします。
- ワイヤレス接続に必要な無線 LAN 子機は本製品に同梱されていません。したがって、本製品をご購入いただいた販売店で別途お求めいただく必要があります。

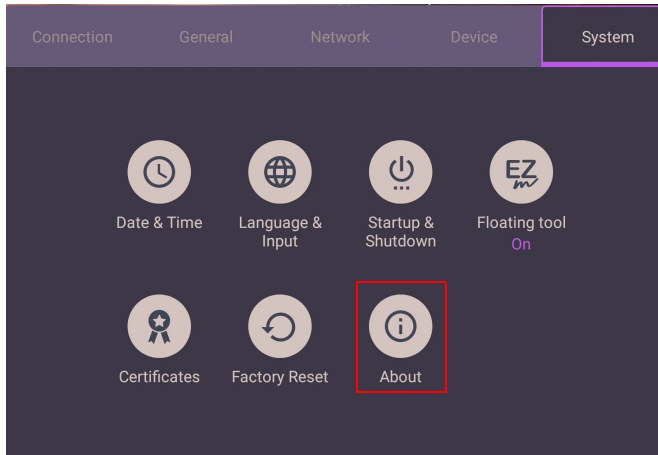
ソフトウェアの更新

ソフトウェアの新しいバージョンがリリースされると、電子黒板の電源を入れるたびにシステムが自動的にアップデートを検出し、ダウンロードするよう促します。ソフトウェアをアップデートしたい場合は、**ネットワークのアップデート**または **USB のアップデート**を選択してアップデートを続行してください。または、このステップを省略してソフトウェアを後から更新することもできます。



ソフトウェアを手動更新するには：

1. 対応 OS > バージョン情報 > システムアップデートを選択します。





2. アップデートがあるときには、システムが更新を開始します。



- ソフトウェアのアップデートが完了するまでには少し時間がかかります。
- アップデート中は、デバイスの電源を切ったり、インターネット接続を解除したりしないでください。ソフトウェアのアップデート中に中断すると、電子黒板が故障する場合があります。

音量の調整

音量レベルを調整するには、次のいずれかを行ってください。

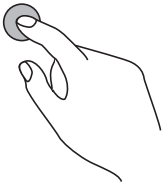
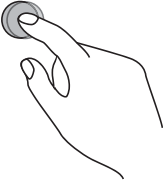
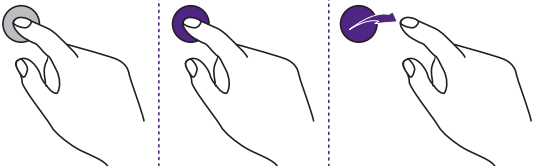
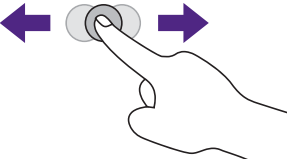
- リモコンで **V+** / **V-** を押して、音量を調整します。
- 電子黒板のフロントパネルにある  /  を押します。
- **設定 > 全般** を選択して音量を調整します。詳細は、[40 ページの「一般設定」](#) を参照してください。

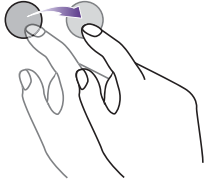
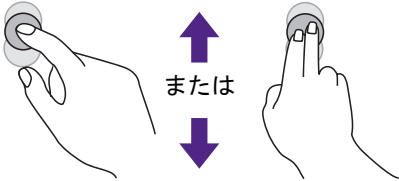
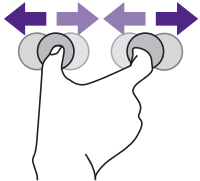
タッチ画面の使い方

タッチ画面を使って、お使いのパソコンを操作することができます。タッチ画面では、基本的なマウス機能を実行することができます。次の表は、タッチ画面で使用できるジェスチャをまとめたものです。



電子黒板の USB ケーブルがコンピュータに接続されているか確認してください。

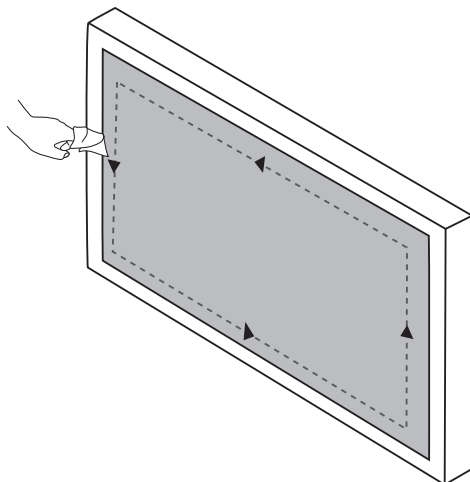
OS 機能	ジェスチャ操作
クリック	画面を 1 回タップします。 
ダブルクリック	画面を 2 回タップします。 
右クリック	<ol style="list-style-type: none"> 対象を押します。 押したままにすると青いリングが表示されます。 指を放してください。 
ドラッグ	1本の指を左か右にドラッグします。 

OS 機能	ジェスチャ操作
<p>上 / 下にパン / 戻る / 進む</p>	<p>任意の方向に指をすばやくドラッグ（フリック）します。</p> 
<p>スクロール</p>	<p>1 本または 2 本指で上または下にドラッグします。</p> 
<p>ズーム</p>	<p>2 本の指を開いたり、閉じたりします。</p> 

タッチ画面の使用上の注意

タッチ操作で不具合が生じた場合は、フレームをきれいに拭いてください。

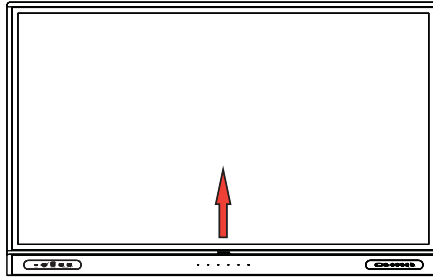
- 画面のお手入れをする前に、電源をオフにして、電源コードを抜いてください。
- 画面やフレームのホコリや汚れは定期的に落としてください。フレームのお手入れには、少量のアルコールをお使いください。
- 画面のダメージを防止するために、研磨剤は絶対にお使いにならないでください。
- タッチ画面のお手入れには、中性洗剤をお使いください。バナナオイルやアンモニアなどの腐食性のものはご使用にならないでください。
- タッチ画面のお手入れには、中性洗剤で濡らした柔らかく、毛羽立ちのない布をお使いください。
- 画面や本体に直接洗剤やアルコールをスプレーで噴霧しないでください。タッチ画面がショートする場合があります。
- タッチ画面を直射日光やスポットライトなどの強い光が当たる場所に放置しないでください。



メニュー操作


ワンタッチメニュー操作

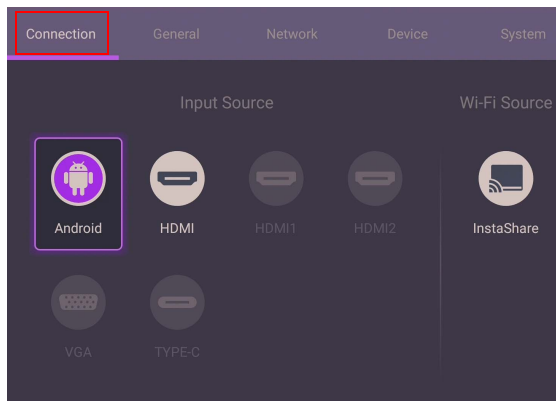
下図のように、画面の下中央から上に向けてドラッグすると、**OSD** メニューが開きます。








設定メニュー

入力切替

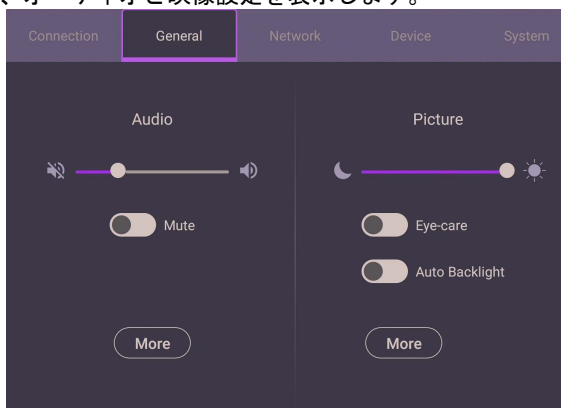
リモコンの 、またはフロントパネルのメニューボタンを押します。または、スクリーンの下中央あたりからスクリーンの中心に向かってドラッグすると、**OSD** メニューが開きます。




- リモコンの  /  /  /  を押した後、**OK** を押して確定を押します。または直接入力ソースをクリックします。
- リモコンの  をクリックするか、メニューの外側のエリアをクリックするとメニューが終了します。

一般設定


全般を選択し、オーディオと映像設定を表示します。



オーディオ

- オーディオを選択し、音量バーを使って電子黒板の音量を調整します。
-  をタップしてミュートを有効または無効にします。
- 「その他」を選択してオーディオメニューを開きます。

画像

- 画像を選択し、輝度バーを使って電子黒板の輝度を調整します。
- **アイケア**機能は OSD メニューで有効にできます。**アイケア**電子黒板のブルーライト低減モードに切り替えます。
-  をタップしてバックライトの明るさの自動調節機能を有効または無効にします。
- 「その他」を選択して詳細メニューを開きます。

アイケアソリューション

波長が 455 nm 以下のブルーライトは視覚に影響を与えます。**アイケアソリューション**は、眼を保護するための機能です。電子黒板には、超低量ブルーライト放出や、目に見えない程度のちらつき (0-3000Hz 以内) など、電子黒板を長時間見つめることで生じる眼精疲労を防止するための独自のアイケア技術が搭載されています。また、最新のグレア防止処理が加工されているため、反射やグレアを最小化して生産性や快適性を向上させることができます。



長時間電子黒板をご使用になる場合：

- 30 分毎に 10 分の休憩を入れてください。
- 20 分毎に 20 秒間遠くを見てください。
- 目が痛くなったり、疲れたときには、1 分間目を閉じて目をぐるぐると回してください。

スマートアイケア機能を有効にするには、**全般からアイケア**を有効にしてください。

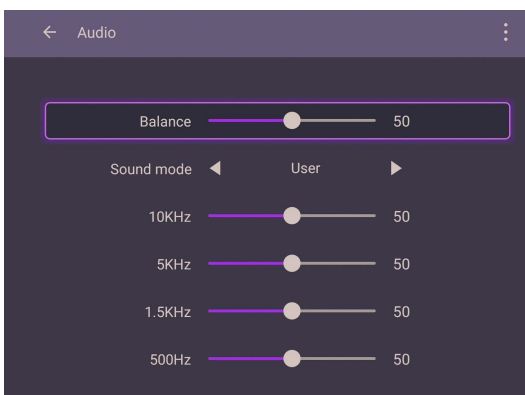
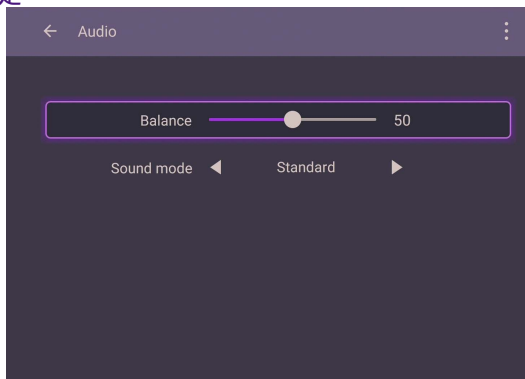
低ブルーライト & ちらつき防止：

- 低ブルーライト TUV 認証に基づき、デフォルト設定は**画像モード**です：**標準**、**輝度**：50、**コントラスト**：50、**色温度**：**標準**を選択し、次に**アイケア**機能を有効にします。
- ちらつき防止 TUV 認証に基づき、デフォルト設定は**画像モード**です：**標準**、**輝度**：50、**コントラスト**：50、**色温度**：**標準**。



画像設定については、[43 ページ](#)の「**画像設定**」をご覧ください。

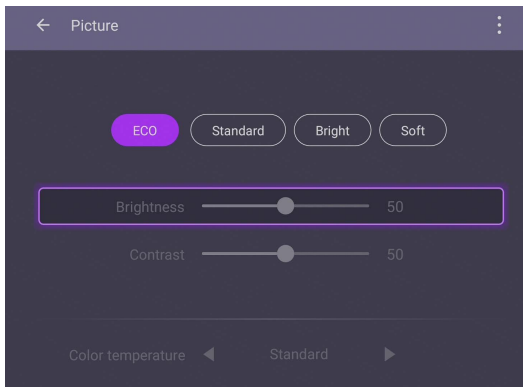
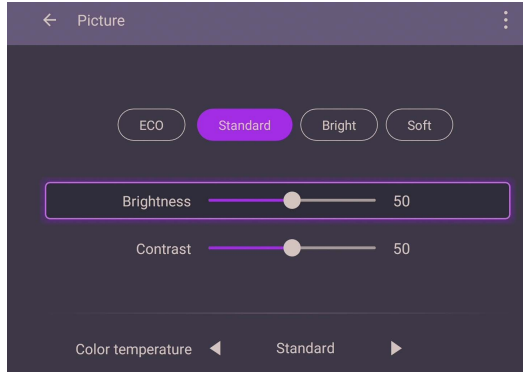
オーディオ設定




- リモコンの **▲/▼/◀/▶** を押した後、**OK** を押して確定を押します。または直接項目をクリックします。
- リモコンの **↶** をクリックするか、メニューの外側のエリアをクリックするとメニューが終了します。

メニューボタン	説明
バランス	音量バランスを調整します。
サウンドモード	<ul style="list-style-type: none"> • プリセットのサウンド環境をタッチします。選択肢は標準、ニュース、音楽、映画、スポーツ、ユーザーモードです。 • ユーザーモードでは、10KHz、5KHz、1.5KHz、500Hz を調整できます。

画像設定

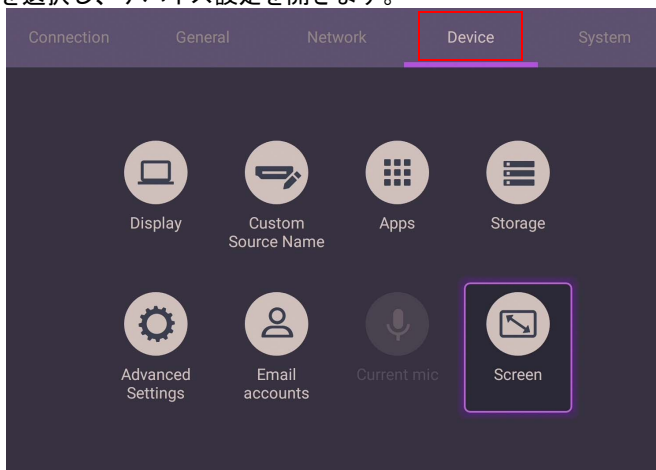


- リモコンの ▲/▼/◀/▶ を押した後、**OK** を押して確定を押します。または直接項目をクリックします。
- リモコンの  をクリックするか、メニューの外側のエリアをクリックするとメニューが終了します。

メニューボタン	説明
画像モード	<ul style="list-style-type: none"> • リモコンの ▲/▼/◀/▶ を押すか、画像モードをクリックします。選択肢は、エコ、標準、明るく、ソフトです。 • エコモードでは、輝度レベル、コントラスト、色温度はロックされます。
輝度レベル	標準 、 明るく 、 ソフト モードでリモコンの ◀/▶ を押します。または、つまみをドラッグして輝度を調整することもできます。
コントラスト	標準 、 明るく 、 ソフト モードでリモコンの ◀/▶ を押します。または、つまみをドラッグしてコントラストを調整することもできます。
色温度	リモコンの ▲/▼/◀/▶ を押すか、画像のプリセットの色温度をクリックします。選択肢は、 標準 、 寒色 、 暖色 です。

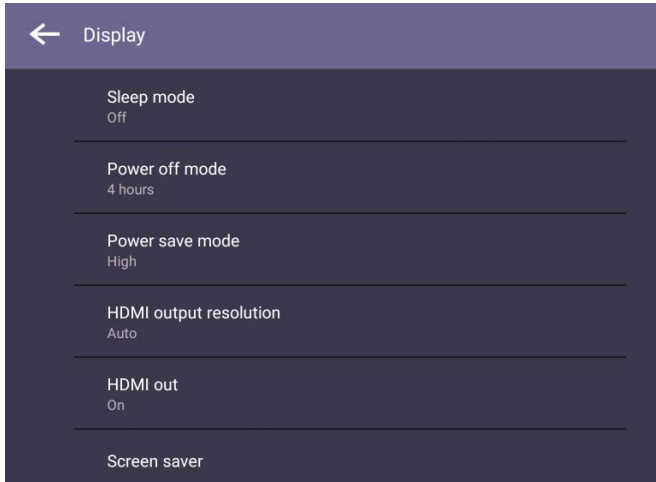
デバイス設定


デバイスを選択し、デバイス設定を開きます。



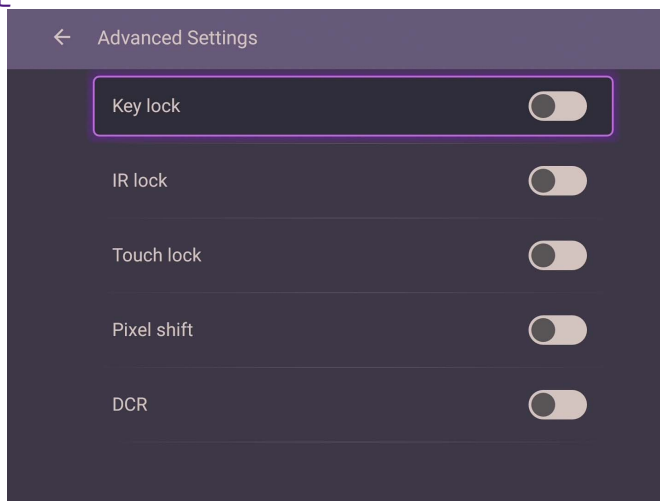
メニューボタン	説明
電子黒板	電子黒板のパラメータを調整できます。詳細は、 45 ページの「電子黒板設定」 を参照してください。
カスタムソース名	各入力ソースに対して、それぞれ独自の名前を付けます。
アプリ	電子黒板にインストールされているすべてのアプリケーションにアクセスできます。
ストレージ	電子黒板のメモリを管理します。
詳細設定	その他の設定にアクセスできます。詳細は、 46 ページの「詳細設定」 を参照してください。
E メールアカウント	サードパーティーメールアプリケーションの表示用 E メールアカウントを設定します。
現在のマイクとカメラ	現在のマイクとカメラの情報を表示します。
画面	電子黒板の画像設定を調整できます。詳細は、 47 ページの「画面設定」 を参照してください。


電子黒板設定



- リモコンの ▲/▼/◀/▶ を押した後、**OK** を押して確定を押します。または直接項目をクリックします。
- リモコンの  をクリックするか、メニューの外側のエリアをクリックするとメニューが終了します。


詳細設定



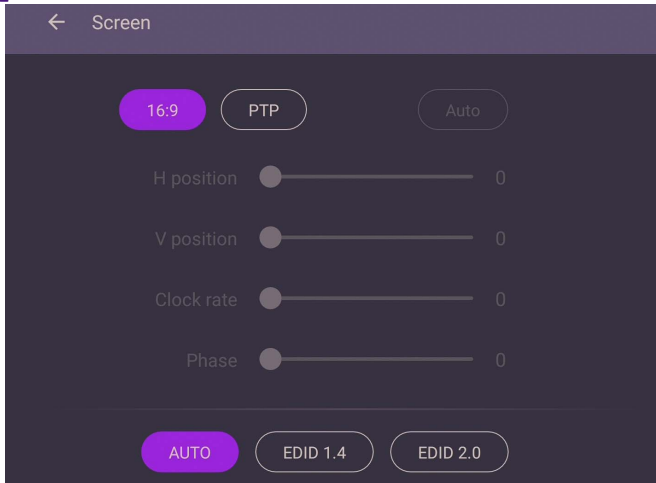
- リモコンの $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ を押した後、**OK** を押して確定を押します。または直接項目をクリックします。
- リモコンの  をクリックするか、メニューの外側のエリアをクリックするとメニューが終了します。

メニューボタン	説明
キーロック	電子黒板のフロントパネルにあるボタンのロックとロック解除を切り替えるには、リモコンの OK を押すか、スイッチをクリックします。
リモコンロック	電子黒板のフロントパネルにあるリモコンの赤外線受光部のロックとロック解除を切り替えるには、リモコンの OK を押すか、スイッチをクリックします。
タッチロック	画面のタッチのロックとロック解除を切り替えるには、リモコンの OK を押すか、スイッチをクリックします。
ピクセルシフト	リモコンの OK を押すか、アイコンをクリックして残像を防止するためにピクセルシフトを設定してください。
DCR	リモコンの OK を押すと DCR を有効/無効にできます。



- キーボード、リモコン、タッチがすべてロックされている場合は、次の手順でロックを解除してください。リモコンの  を5秒間長押ししてください。
- 残像については、7ページの「この電子黒板のLCDパネルに関するご注意」を参照してください。

画面設定



- リモコンの ▲/▼/◀/▶ を押した後、**OK** を押して確定を押します。または直接項目をクリックします。
- リモコンの **↶** をクリックするか、メニューの外側のエリアをクリックするとメニューが終了します。
- リモコンの ◀/▶ を押した後、**OK** を押して画像を調整します。

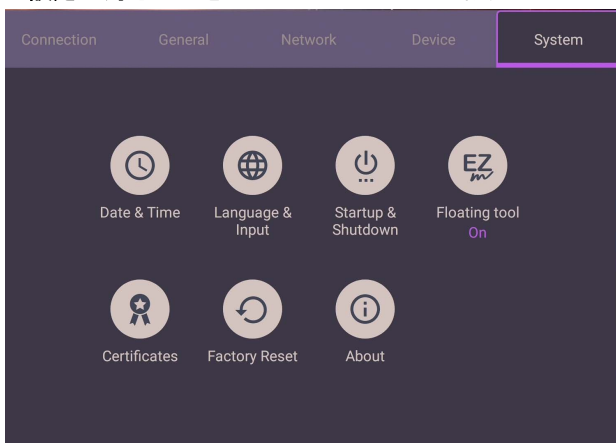
メニューボタン	説明
アスペクト比	リモコンの ◀/▶ を押すか、縦横比をクリックします。オプションは 16:9 または PTP です。また、 自動 を選択して、自動的に画像を調整することもできます。


- **水平位置**、**垂直位置**、**クロックレート**、**位相機能**を使って手動で画像を調整してください。

メニューボタン	説明
水平位置	画面を左右に移動します。
垂直位置	画面を上または下に動かすことができます。

システム設定

ホーム画面で**設定 > 対応 OS** をクリックしてシステム設定に入ります。



- ・リモコンの  をクリックするか、メニューの外側のエリアをクリックするとメニューが終了します。

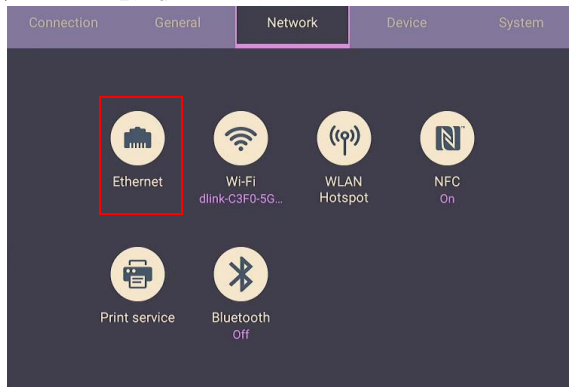
オプション	説明
日付と時間	Android で日付、時刻、それらのフォーマットを設定します。
言語と入力	Android で言語とキーボードと入力方式を設定します。
電源管理	起動時の入力ソース、OPS 起動オプション、Wake on Lan、電源スケジュール を設定します。詳細は、 50 ページの「電源管理」 を参照してください。
注釈ツール	注釈ツールを開いたり、閉じたりします。詳細は、 54 ページの「注釈ツール」 を参照してください。
バージョン情報	Android でシステム情報を表示します。



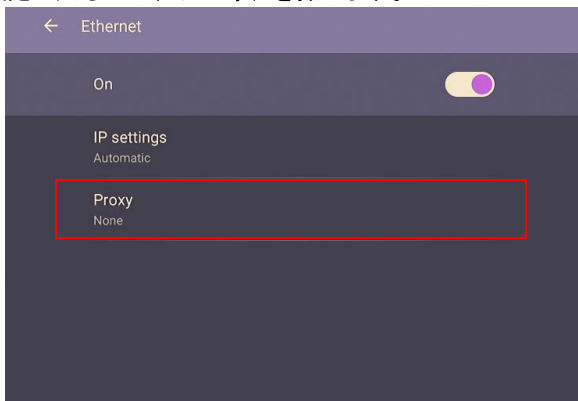
ユーザーが使用可能な保存領域は、プリインストールされたアプリの数とユーザーデータが占める量によって変わります。

プロキシ設定

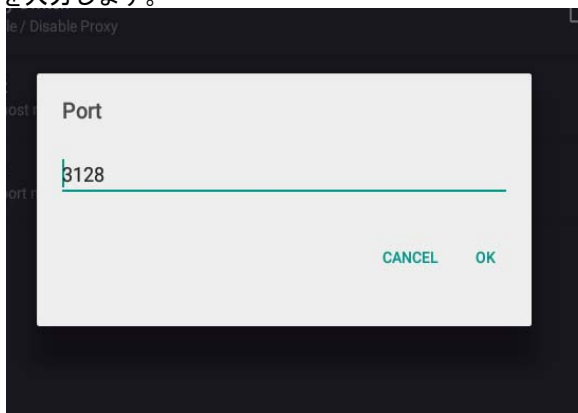
- ネットワーク > LAN を選択します。



- プロキシ設定に入るには、**プロキシ**を押します。

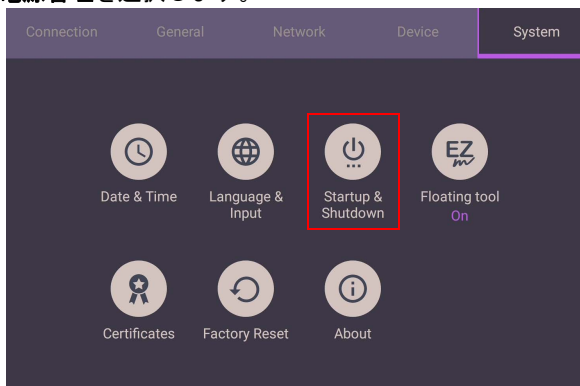


- プロキシのホスト名を入力します。
- 使用ポートを入力します。

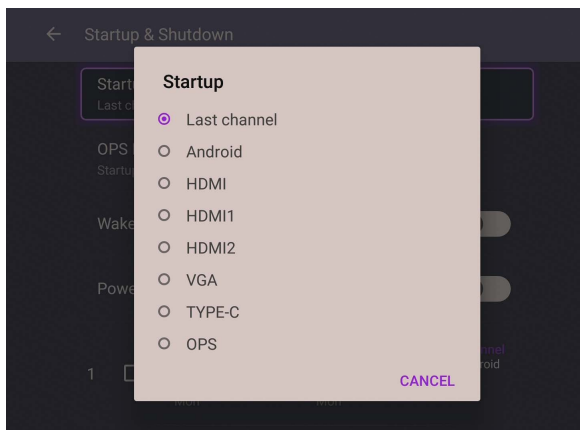
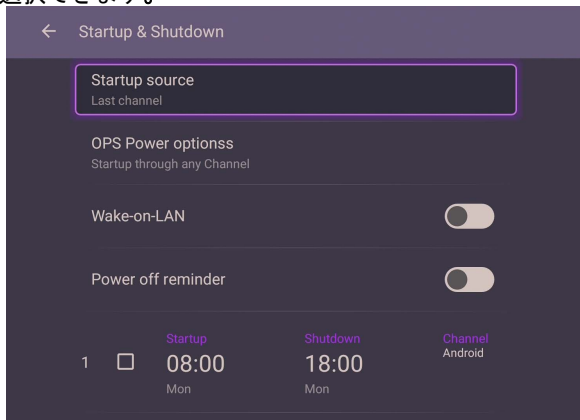


電源管理

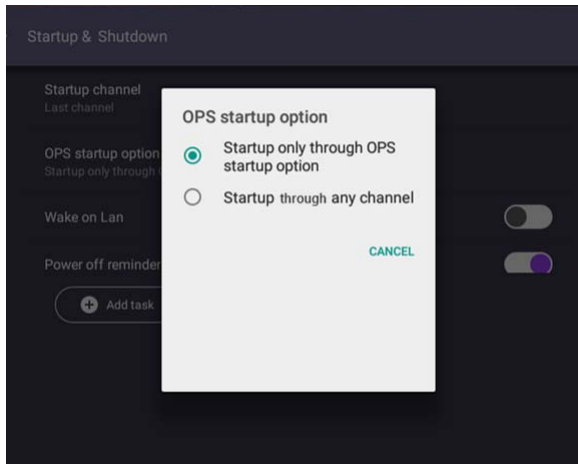
- 対応 OS > 電源管理を選択します。



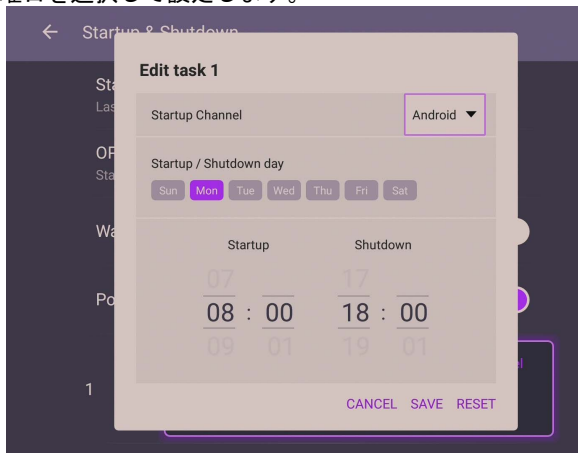
- 起動時の入力ソースの設定は、最後に使用した入力ソースまたは指定した入力ソースから選択できます。



- 内蔵 OPS スタートアップ オプションについては、OPS 内蔵スタートアップ オプションからのみ起動またはあらゆるチャンネルから起動のいずれかを選択できます。



- 電源スケジュールについては、起動時間とシャットダウン時間を調整できます。予定は曜日を選択して設定します。





Android システムのインターフェイス







これはクローズド Android OS です。このシステムで許可されていないアプリをダウンロードしたり、使用したりすることはできません。

ホーム画面

デフォルトでは、Android のホーム画面が開きます。Android のホーム画面に戻る：

- リモコンの  を使ったり、フロントパネルにある**ホームボタン**を押すと、メインのインターフェイスに戻ります。
- リモコンの  を押します、または、**OSD** メニューを画面の下中央から上に向かってドラッグすると **OSD** メニューが表示されますので、入力ソースから Android を選択します。









アイコン	機能	説明
	入力ソース	「接続」メニューが開きますので、入力ソースを選択します。
	OSD 設定	設定メニューを開く / 閉じます。
	すべてのアプリ	すべてのアプリとウィジェット一覧を開きます。
	ヘルプ	オンラインチュートリアル動画とマニュアルが開きます。(2022 Q2 より利用可能予定)

サイドツールバー

画面の左右にあるサイドバーをタップすると、サイドツールバーにアクセスできます。




画面の上または下にサイドツールバーをドラッグして移動できます。

アイコン	機能	説明
	戻る	前の画面に戻ります。
	ホームボタン	ホーム画面に戻ります。
	タスクスイッチャー	最近開いたアプリや入力ソースを切り替えます。
	注釈ツール	注釈ツールが開きます。
	Duo Window	2つのアプリを横に並べて起動します。(2022 Q2より利用可能予定)
	EZWrite	ホワイトボードアプリ EZWrite が開きます。












注釈ツール

注釈ツールは、電子黒板が表示している画面に手軽に注釈を書いたりできる便利な機能です。

注釈ツールを使用するには、次のいずれかを行ってください。

- サイドツールバーにある  をタップします。
- 入力ソース表示上、または Android 上で、2本の指を約 20–50 mm 離して 2 秒以上画面を押し続けると、下に示すように **注釈ツールメニュー** が起動します。





アイコン	機能	説明
	閉じる / 最小化	<ul style="list-style-type: none"> • 注釈ツールを閉じます。 • EZWrite 6 を使用しているときに、注釈ツールバーを最小化します。
	蛍光ペン	蛍光ペンを有効にします。  蛍光ペンは 5 色あります (赤、黄色、緑、青、黒)。また、太さも調整できます。
	レーザーポインタ	画面上でレーザーポインタを有効にします。
	消しゴム	画面の注釈を消します。指先消しゴムを使用したり、すべての注釈を消去できます。
	ツールボックス	電卓、タイマー、ストップウォッチ、スコアボード、描画ツールが入ったツールボックスが開きます。
	録画	画面の録画が開始します。
	スクリーンショット	画面のスクリーンショットを撮ります。
	操作モード	すべての注釈を隠して、ホーム画面の操作を行います。
	ペン	ペンツールを有効にします。  ペン先は標準で丸い形状になっています。ペンは 5 色あります (赤、黄色、緑、青、黒)。また、太さも調整できます。

AMS ファイルマネージャの概要

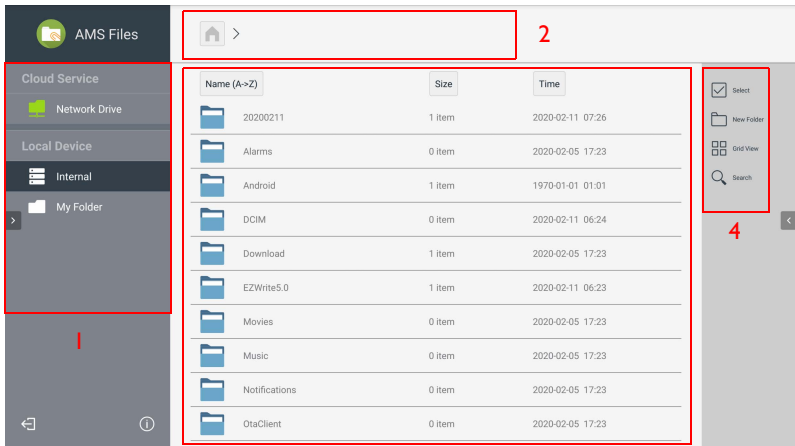
このアプリを活用すると、個人フォルダや設定にアクセスして、電子黒板上のファイルやアカウントを管理することができます。

AMSを開くには、次のいずれかを行ってください。



- ファイルマネージャのショートカット  をタップします。
- AMSのショートカット  をタップします。




起動後、下図のように4つのメインパートが表示されます：



3

項目	説明
1. ソース選択	<ul style="list-style-type: none">• ファイルは Google Drive、Dropbox、Samba などのクラウドストレージから開くことができます。• また、ローカルストレージ、マイフォルダ、接続した USB などのローカルデバイスからも開くことができます。 <p> Google Drive、Dropbox の横にある  は、このアカウントが AMS サービスと関連付けられていることを示しています。</p>
2. フォルダパス	このエリアではフォルダの階層を参照できます。
3. ファイル一覧	選択したフォルダのファイル一覧を見ることができます。
4. 操作タブ	操作タブを使ってファイルを操作することができます。

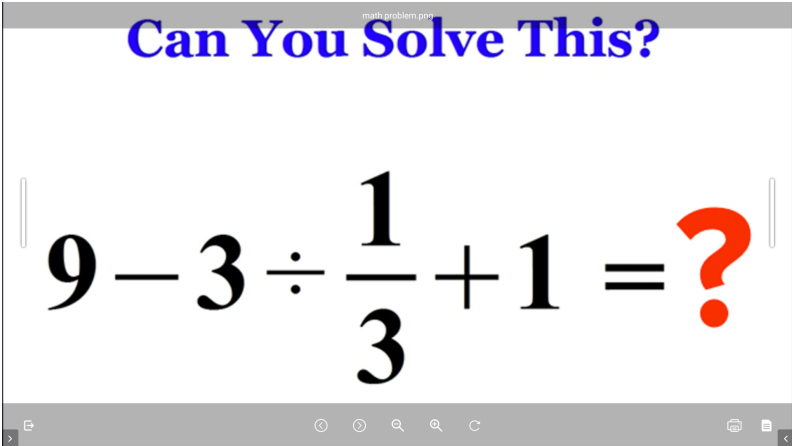
 一般ユーザーは自分のファイルを見ることしかできません。一方、管理者は全ユーザーのファイルを確認できます。









マルチメディアファイル

画像、オーディオ ファイル、動画などのマルチメディア ファイルは、ファイルアイコンを直接タップすることで再生できます。

画像

画像ファイルを選択し、メニューから操作を実行できます。



アイコン	機能
	画像ビューアを閉じます。
	前の画像ファイルを再生します。
	次の画像ファイルを再生します。
	現在の画像を拡大します。
	現在の画像を縮小します。
	現在の画像を時計回りに回転させます。
	画像を印刷します。
	名前、作成時間、ファイルサイズ、ファイル形式などのファイル情報が表示されます。

対応画像形式（最大解像度）

画像	フォト	解像度	最大解像度
JPEG	ベースライン	1920×1080	15360×8640
	プログレッシブ	1024×768	7000×7000

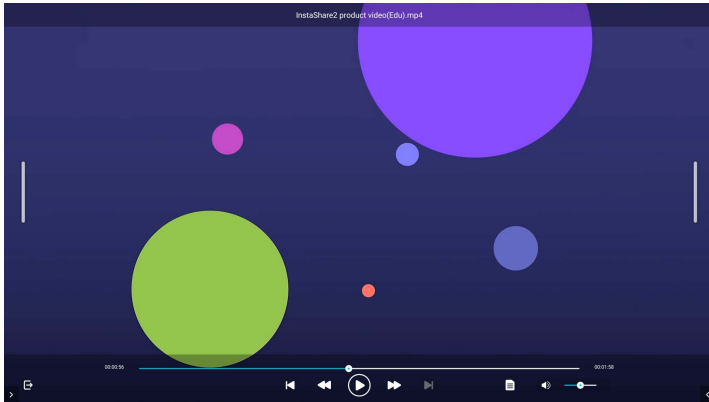
画像	フォト	解像度	最大解像度
PNG	非インタレース	1920x1080	9600x6400
	インタレース	1920x1080	9600x6400
BMP	-	9600x6400	9600x6400



大解像度の上限は、メモリのサイズによります。

オーディオ / ビデオ


電子黒板上で再生したいオーディオ / ビデオファイルを選択し、メニューから操作を実行できます。



アイコン	機能
	オーディオ / ビデオプレーヤーを終了します。
	前のオーディオ / ビデオファイルを再生します。
	オーディオ / ビデオを撒き戻します。
	現在のオーディオ / ビデオファイルを再生 / 一時停止します。
	オーディオ / ビデオを早送りします。
	次のオーディオ / ビデオファイルを再生します。
	名前、作成時間、ファイルサイズ、ファイル形式などのファイル情報が表示されます。
	オーディオ / ビデオの音量を調整します。

対応するオーディオ形式（コーデック）


オーディオ コーデック	サンプル レート	チャンネル	ビット レート	コンテナ
MPEG1/2 レイヤー 1	16-48KHz	最大 2	32-448Kbps	MP3 (.mp3)、AVI (.avi)、ASF (.asf)、WMV (.wmv)、DivX (.divx)、MKV (.mkv、.mka)、WebM (.webm)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MP4 (.mp4、.mov、.m4a)、MPEG トランスポート ストリーム (.ts、.trp、.tp)、MPEG プログラム ストリーム (.dat、.vob、.mpg、.mpeg)、FLV (.flv)、WAV (.wav)、OGM (.ogm)
MPEG1/2 レイヤー 2	16-48KHz	最大 2	8-384Kbps	MP3 (.mp3)、AVI (.avi)、ASF (.asf)、WMV (.wmv)、DivX (.divx)、MKV (.mkv、.mka)、WebM (.webm)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MP4 (.mp4、.mov、.m4a)、MPEG トランスポート ストリーム (.ts、.trp、.tp)、MPEG プログラム ストリーム (.dat、.vob、.mpg、.mpeg)、FLV (.flv)、WAV (.wav)、OGM (.ogm)
MPEG1/2/2.5 レイヤー 3	8-48KHz	最大 2	8-320Kbps	MP3 (.mp3)、AVI (.avi)、ASF (.asf)、WMV (.wmv)、DivX (.divx)、MKV (.mkv、.mka)、WebM (.webm)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MP4 (.mp4、.mov、.m4a)、MPEG トランスポート ストリーム (.ts、.trp、.tp)、MPEG プログラム ストリーム (.dat、.vob、.mpg、.mpeg)、FLV (.flv)、WAV (.wav)、OGM (.ogm)

オーディオコーデック	サンプルレート	チャンネル	ビットレート	コンテナ
AAC-LC、HEAAC	8-48KHz	最大 5.1	16-576Kbps	AAC (.aac)、AVI (.avi)、MKV (.mkv、.mka)、WebM (.webm)、DivX (.divx)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MP4 (.mp4、.mov、.m4a)、MPEG トランスポートストリーム (.ts、.trp、.tp)、MPEG プログラムストリーム (.dat、.vob、.mpg、.mpeg)、FLV (.flv)、RM (.rm、.rmvb、.ra)、WAV (.wav)、WMV (.wmv)
VORBIS	6-48KHz	最大 5.1	8-500Kbps	MKV (.mkv、.mka)、WebM (.webm)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MP4 (.mp4、.mov、.m4a)、Ogg (.ogg)、WMV (.wmv)、ASF (.asf)、AVI (.avi)  ステレオデコードのみ対応します。
LPCM	6-192KHz	モノ、ステレオ	該当なし	WAV (.wav)、AVI (.avi)、MKV (.mkv、.mka)、WebM (.webm)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MP4 (.mp4、.mov、.m4a)、MPEG トランスポートストリーム (.ts、.trp、.tp)、MPEG プログラムストリーム (.dat、.vob、.mpg、.mpeg)、WMV (.wmv)、ASF (.asf)、FLV (.flv)、OGM (.ogm)
LBR (cook)	8KHz、11.025KHz、22.05KHz、44.1KHz	最大 2	8-96.469Kbps	RM (.rm、.rmvb、.ra)
FLAC	8-192KHz	最大 5.1	128-2304Kbps	MKV (.mkv、.mka)、WebM (.webm)、FLAC (.flac)

オーディオコーデック	サンプルレート	チャンネル	ビットレート	コンテナ
OPUS	8-48KHz	最大 5.1	6-510Kbps	MKV (.mkv, .mka)、WebM (.webm)
APE	32KHz、44.1KHz、48KHz	最大 2	500Kbps-1.5Mbps	APE (.ape)
AMR-NB	8KHz	1	4.75-12.2Kbps	3GPP (.3gpp, .3gp)、MP4 (.mp4, .mov, .m4a)
AMR-WB	16KHz	1	6.6-23.85Kbps	3GPP (.3gpp, .3gp)、MP4 (.mp4, .mov, .m4a)


対応ビデオ形式 (コーデック)

ビデオコーデック	解像度	ビットレート	プロファイル	コンテナ
VP9	4096x2160 @60fps	60Mbps	<ul style="list-style-type: none"> プロファイル 0 (420, 8 ビット) プロファイル 2 (420, 10 ビット) 	MKV (.mkv)、WebM (.webm)
HEVC/H.265	4096x2160 @60fps	200Mbps	メイン/メイン 10 プロファイル、ハイティア @ レベル 6.1	MP4 (.mp4, .mov)、3GPP (.3gpp, .3gp)、MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp)、MKV (.mkv)、WebM (.webm)、FLV (.flv)、AVI (.avi)、H265 (.265)
MPEG1/2	1920x1080 @60fps	80Mbps	MP@HL	MPEG プログラムストリーム (.dat, .vob, .mpg, .mpeg)、MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp)、MP4 (.mp4, .mov)、3GPP (.3gpp, .3gp)、AVI (.avi)、MKV (.mkv)、WebM (.webm)、ASF (.asf)、WMV (.wmv)、OGM (.ogm)

ビデオコーデック	解像度	ビットレート	プロファイル	コンテナ
MPEG4	1920x1080 @60fps	80Mbps	<ul style="list-style-type: none"> • シンプルプロファイル • 詳細なシンプルプロファイル @ レベル 5  GMC には対応しません。	MP4 (.mp4, .mov)、3GPP (.3gpp, .3gp)、AVI (.avi)、MKV (.mkv)、WebM (.webm)、ASF (.asf)、WMV (.wmv)、FLV (.flv)、OGM (.ogm)、MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp)、MPEG プログラムストリーム (.dat, .vob, .mpg, .mpeg)
Sorenson H.263	1920x1080 @60fps	80Mbps	該当なし	FLV (.flv)、AVI (.avi)
H.263	1920x1080 @60fps	80Mbps	該当なし	FLV (.flv)、MP4 (.mp4, .mov)、3GPP (.3gpp, .3gp)、AVI (.avi)、ASF (.asf)、WMV (.wmv)
H.264	4096x2160 @60fps	200Mbps	メイン、ハイおよび最大レベル 6.0 までの High10 プロファイル	FLV (.flv)、MP4 (.mp4, .mov)、3GPP (.3gpp, .3gp)、MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp)、ASF (.asf)、WMV (.wmv)、AVI (.avi)、MKV (.mkv)、WebM (.webm)、OGM (.ogm)、MPEG プログラムストリーム (.dat, .vob, .mpg, .mpeg)、H264 (.264)
AVS	1920x1080 @60fps	80Mbps 60Mbps	<ul style="list-style-type: none"> • Jizhun プロファイル @ レベル 6.0 • Guangbo プロファイル @ レベル 6.0 	3GPP (.3gpp, .3gp)、MP4 (.mp4, .mov)、MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp)、AVS (.avs)
AVS2	4096x2304 @60fps	100Mbps	メイン / メイン 10bit プロファイル @ レベル 8.2.60	MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp)、AVS2 (.avs2)

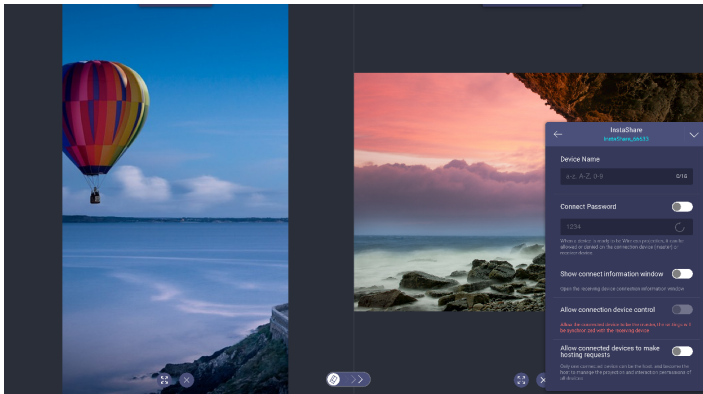
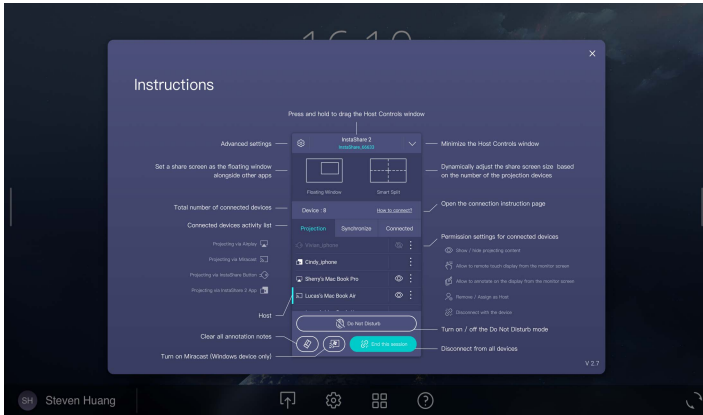
ビデオコーデック	解像度	ビットレート	プロファイル	コンテナ
VCI	1920x1080 @60fps	80Mbps	<ul style="list-style-type: none">• アドバンスプロファイル @ レベル 3• シンプルプロファイル• メインプロファイル	MPEG トランスポートストリーム (.ts、.trp、.tp)、ASF (.asf)、WMV (.wmv)、AVI (.avi)、WebM (.webm)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MP4 (.mp4、.mov)、VCI (.vcl)
Motion JPEG	1920x1080 @30fps	30Mbps	該当なし	AVI (.avi)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MP4 (.mp4、.mov、.m4a)、MKV (.mkv)、WebM (.webm)、FLV (.flv)
VP8	1920x1080 @60fps	60Mbps	該当なし	MKV (.mkv)、WebM (.webm)、FLV (.flv)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MP4 (.mp4、.mov)、AVI (.avi)、OGM (.ogm)
RV30/RV40	1920x1080 @60fps	80Mbps	該当なし	RM (.rm、.rmvb)、MKV (.mkv)、WebM (.webm)

InstaShare 2

ホーム画面の「すべてのアプリ」一覧からアイコン  をタップすると **InstaShare 2** が起動します。このアプリを活用すると、スマートフォンやタブレットの画面を電子黒板にミラー化して、他の人と共有したり、注釈をつけたりすることができます。



アプリを実行する前に、電子黒板が正しくネットワークに接続されているか確認してください。



製品情報

仕様

項目		仕様
		RM6503 / RM7503 / RM8603
パネル	スクリーンサイズ	RM6503 : 65" / RM7503 : 75" / RM8603 : 86"
	バックライト	直下型 LED
	アスペクト比	16:9
	解像度	3840 × 2160
	ピクセルピッチ (mm)	RM6503 : 0.372(H) × 0.372(V) RM7503 : 0.4296(H) × 0.4296(V) RM8603 : 0.4935(H) × 0.4935(V)
	輝度 (標準) (cd/m2)	RM6503 : 350 (標準) RM7503 : 400 (標準) RM8603 : 400 (標準)
	ガラスなしの輝度 (標準)	RM6503 : 400 (標準) RM7503 : 450 (標準) RM8603 : 450 (標準)
	コントラスト比 (標準)	1200:1
	視野角 (°)	178
タッチ	検知方式	赤外線遮断方式
	タッチ方法	指と付属のタッチペン
	対応 OS	Windows 7/8/10/XP/Linux/Mac/Android/Chrome OS
	マルチタッチ	Windows で最大 40 pts タッチ、Android で最大 32 pts タッチ
	最小オブジェクトサイズ	2mm、ペン先 3.2mm/11mm、同時に 2 本 2 色での描画に対応
	応答速度 (ms)	<10 ms
	検知精度	±1 mm、90% エリア
	ガラス	厚さ 3.2 mm、AG、9H、抗菌

項目		仕様
		RM6503 / RM7503 / RM8603
入出力端子	HDMI 入力	背面 : x 2、正面 : x 1 (2.0)
	HDMI 出力	x 1 (4K@60Hz オーディオあり)
	DsisplayPort 入力	x 1
	VGA 入力	x 1
	PC オーディオ入力 (3.5mm)	x 1
	マイク入力	x 1
	S/PDIF (光学)	x 1
	オーディオ出力 (3.5mm イヤフォン)	x 1
	USB 2.0 (Type A)	背面端子 : x2
	USB 3.0 (Type A) (OPS/ 外部フォロー)	背面 : x 2 (1.5A) 正面 : x 2 (1.5A) 無線 LAN 子機用 : x 1
入出力端子	USB タッチ出力 (OPS/ MIC/ カメラ /USB の 外部パススルー)	背面 : x 2、正面 : x 1 (USB 3.0)
	RS232	x 1
	LAN (RJ45)	OPS : 10M/100M/1000M Android : 10M/100M LAN x 2
	USB Type-C	x1 (データ / 電力 (65W)/ タッチ / DP Alt モード)
Android システム	OS バージョン	Android 9
	CPU	A73 x 4
	GPU	G52 MC 2
	メモリ	8GB
	ストレージ	32GB
ビデオ / オーディオ	スピーカータイプ	内蔵スピーカー
	出力電力	16 W x2
電源	入力電圧	AC 100V-240V、50/60 Hz
	スタンバイ時消費電力	<0.5 W
	最大消費量 (W)	RM6503 : 334.6 W RM7503 : 395.93 W RM8603 : 488.2 W
	ウェークアップ	LAN/HDMI/VGA/DP
その他	アレイマイク	x 6
	環境光センサー	あり

項目		仕様
		RM6503 / RM7503 / RM8603
機械仕様	寸法 (LxHxD)	RM6503 : 1506 x 951 x 120mm RM7503 : 1717 x 1065 x 121mm RM8603 : 1962 x 1203 x 121mm
	寸法 (パッケージ) LxWxH	RM6503 : 1660 x 1160 x 220mm RM7503 : 1900 x 1160 x 225mm RM8603 : 2160 x 1340 x 250mm
	本体重量	RM6503 : 41±1.5kg RM7503 : 53±1.5kg RM8603 : 68.5±1.5kg
	梱包重量	RM6503 : 57.5±1.5kg RM7503 : 72±1.5kg RM8603 : 89.5±1.5kg
	マシンの厚さと壁掛け 金具	ウォールマウント (VESA マウント)
	NUC 用の VESA	100 x 100 mm
	壁取り付け用ネジの仕様	M8*20L x 4
	VESA	RM6503 : 600 x 400mm RM7503 : 800 x 400mm RM8603 : 800 x 600mm
アクセサリ	電源コード	3M x 1
	VGA ケーブル	3M x 1
	USB ケーブル (Type A- Type B)_USB 3.0	3M x 1
	Type C ケーブル	1.5 M x 1
	HDMI ケーブル	3M x 1
	ペン	x 2
	壁掛け金具	x 1
	リモコン	x 1

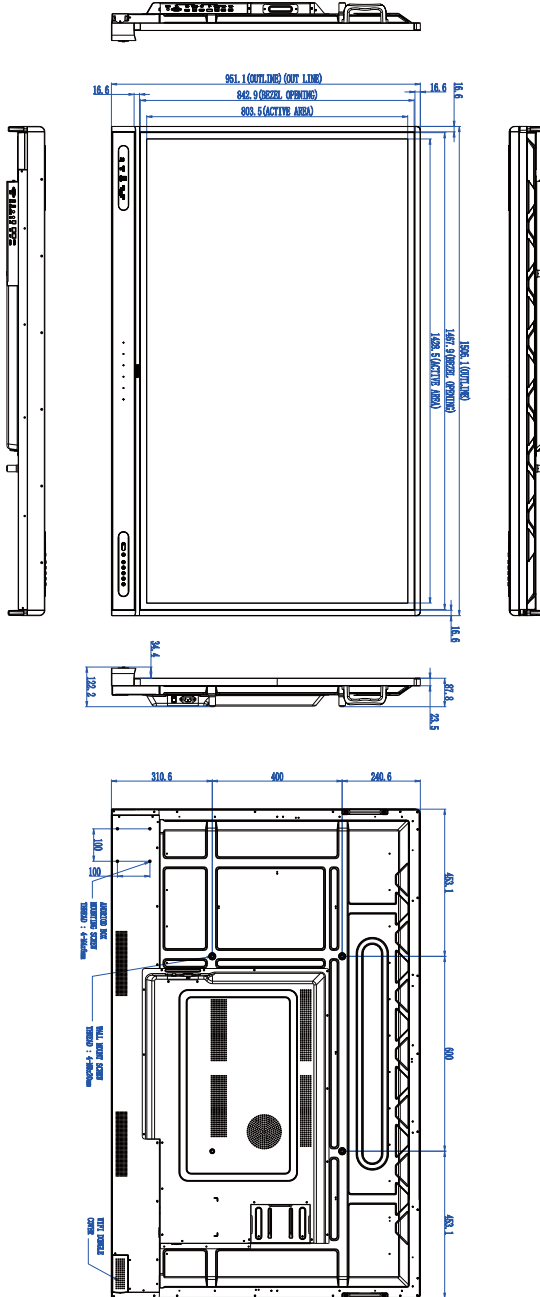
項目		仕様
		RM6503 / RM7503 / RM8603
機能	画像設定	あり
	ソース / 音量調整	あり
	HDMI デイジーチェーン	あり
	RS232 コントロール	あり
	シャープネスの向上	あり
	残像防止	あり
	Duo Windows	あり (2022 Q2 より利用可能予定)
	HDMI-HDCP	あり (2.0)
	DP-HDCP	あり
	10 ビットカラー処理	あり
機能 (続き)	ビデオウォール OSD 設定	なし
	環境光センサー	あり
	合計オン時間	あり
	CEC コントロール	あり
	RTC 機能	あり
	ファームウェア更新	あり (USB、OTA)
	静止 / 消画	あり
	フロント I/O	あり
	詳細設定メニュー (デバッグメニュー)	あり
	ダブル LAN ブリッジ	あり
	パブリック USB ポート 自動切換	あり
	チャンネル自動検出	あり
	全チャンネルを HDMI でループアウト	あり
	ボタンロック	あり
	チャンネルロック	あり (シングルモード)
	スクリーンロック	あり
	スマート サイドバー	あり
BenQ カスタマー API	あり	

項目		仕様
		RM6503 / RM7503 / RM8603
環境	動作温度	0 - 40°C
	動作湿度	10 - 90% (結露なきこと)
	保管温度	-10 - 60°C
	保管湿度	10 - 80% (結露なきこと)
	電子黒板の方向	横向きのみ



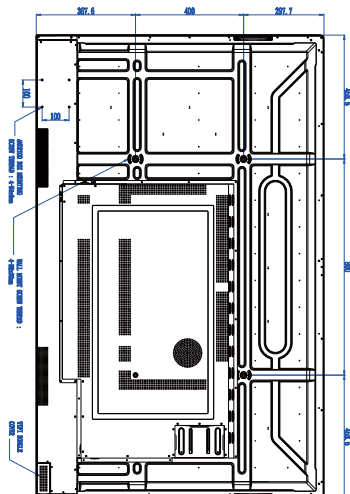
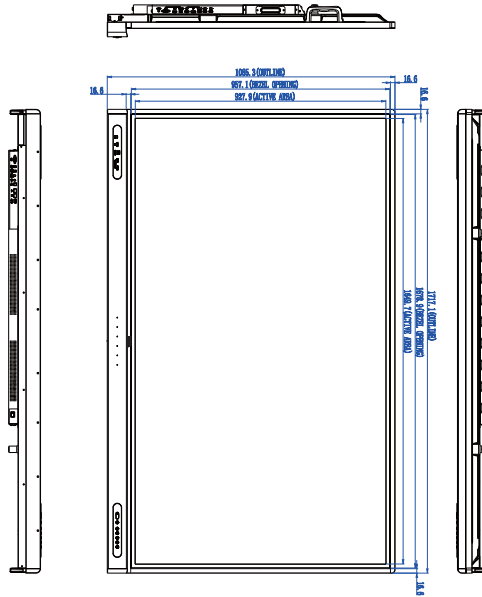
- 仕様および機能は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本製品は OPS に対応します。下記の BenQ OPS モデルをご参照ください。
TEY21-1015M8S4、TEY21-1015M8S5、TEY21-1017M8S4、TEY21-1017M8S5、
TEY21B-1015M8S5、TEY21B-1017M8S5、TEY21Z-1015M8S5、TEY21Z-1017M8S5
- OPS は耐火材に梱包されています。

寸法 (RM6503)



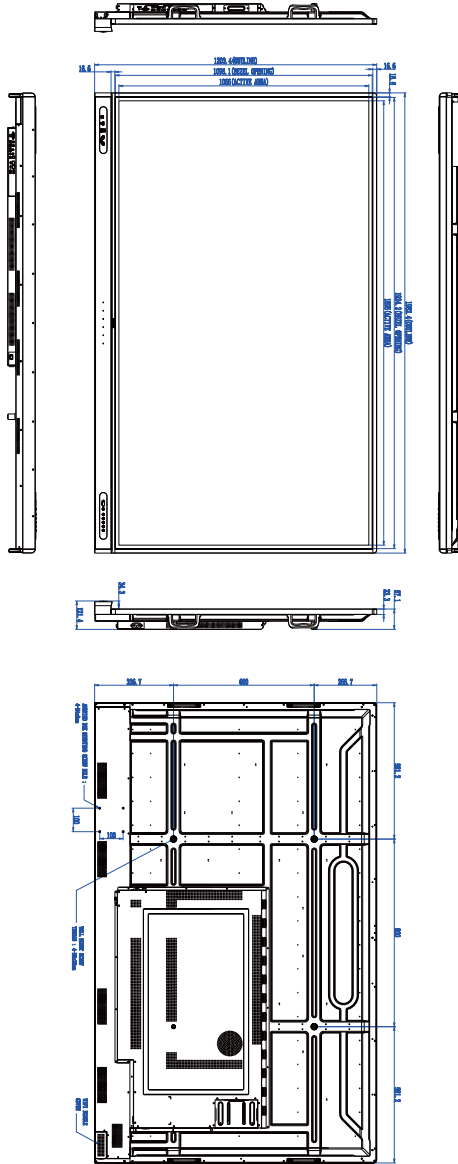
単位 : mm

寸法 (RM7503)



単位 : mm

寸法 (RM8603)



単位 : mm

対応する入力信号解像度

解像度	入カソース		
	TYPE C	VGA	HDMI 2.0
640 x 480 @ 60 Hz		○	
720 x 400 @ 85 Hz		○	
800 x 600 @ 60 Hz	○	○	○
1024 x 768 @ 60 Hz	○	○	○
1280 x 768 @ 60 Hz	○	○	○
1280 x 960 @ 60 Hz	○	○	○
1280 x 1024 @ 60 Hz	○	○	○
1366 x 768 @ 60 Hz	○	○	○
1440 x 900 @ 60 Hz	○	○	○
1680 x 1050 @ 60 Hz	○	○	○
1920 x 1080 @ 60 Hz	○	○	○
3840 x 2160 @ 24 Hz			○
3840 x 2160 @ 25 Hz			○
3840 x 2160 @ 30 Hz			○
3840 x 2160 @ 50 Hz			○
3840 x 2160 @ 60 Hz	○		○
480i (60 Hz)			○
480p (60 Hz)	○		○
576i (50 Hz)			○
576p (50 Hz)	○		○
720p (50 Hz)			○
720p (60 Hz)	○		○
1080i (50 Hz)			○
1080i (60 Hz)			○
1080p (50 Hz)			○
1080p (60 Hz)	○		○



- : 対応
- 空き: 非対応

トラブルシューティング

問題	対処
映像が映りません	<p>次のことをご確認ください：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電子黒板の電源はオンになっていますか？電子黒板の電源インジケータを確認してください。 • 信号ソースのデバイスがオンになっていますか？デバイスの電源を入れてから、再度お試しください。 • ケーブルがしっかりと接続されていますか？すべてのケーブルが確実に接続されているか確認してください。 • コンピュータが対応していない出力解像度を選択していませんか？ 73 ページの「対応する入力信号解像度」をご覧ください。 • DVD または Blu-ray ディスクプレーヤーが対応していない出力解像度を選択していませんか？ 73 ページの「対応する入力信号解像度」をご覧ください。
音が聞こえません	<p>次のことをご確認ください：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電子黒板または入力ソースデバイスでミュート機能がオンになっていませんか？ミュート機能をオフにするか、オーディオの音量を上げてください。 • ケーブルがしっかりと接続されていますか？すべてのケーブルが確実に接続されているか確認してください。
コンピュータの入力画像が正常に表示されません	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータが対応していない出力解像度を選択していませんか？ 73 ページの「対応する入力信号解像度」をご覧ください。 • 自動機能を使用すると（VGA のみ）、コンピュータの映像が自動的に最適化されて表示されます。 • 自動機能の結果がよくない場合は、位相、水平位置、垂直位置機能を使って手動で映像を調整してください。
コントロールパネルのボタンが作動しません	<p>コントロールパネルのボタンがロックされていませんか？ボタンのロックを解除してください。</p>

<p>リモコンが作動しません</p>	<ul style="list-style-type: none"> • リモコン機能がロックされていませんか？機能のロックを解除してください。 • 電池が正しい方向に挿入されているか確認してください。 • 電池が使えなくなっていないか確認してください。 • 電子黒板からの距離と角度に注意してください。 • リモコンが電子黒板のリモコンセンサーウィンドウに向けられているか確認してください。 • リモコンとリモコンのセンサー ウィンドウの間に物が置かれていないか確認してください。 • リモコンのセンサーウィンドウに強い蛍光灯の光や直射日光が当たっていないか確認してください。 • リモコンと電子黒板の間の信号通信を干渉する、赤外線信号を発信するデバイス（コンピュータやPDA）が近くにないか確認してください。これらのデバイスの赤外線機能をオフにしてください。
<p>リモコンの故障</p>	<ul style="list-style-type: none"> • リモコンとテレビの電波受信部分の間に障害がないか確認してください。 • リモコンに挿入した電池の極性を確認してください。 • リモコンの電池を交換する必要はありませんか。
<p>マシンが自動的にシャットダウンする</p>	<ul style="list-style-type: none"> • スリープ モードに設定されていませんか。 • 突然の停電になったりしませんでしたか。 • 入力信号がない時自動シャットダウンするようになっていませんか。
<p>圏外のため電波が届かない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 電子黒板が正しく設定されている確認してください。 • 最高の解像度に設定されているか確認してください。 • メニューで行とフィールドの同期を調整してください。
<p>背景に縦の線または筋がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> • メニューで自動補正を選択します。 • メニューで時計とフェーズの位置を調整します。
<p>色なし画像、色が正しくない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • VGA が正しく接続していないか、品質に問題があります。 • メニューで色度と輝度、またはコントラストを調整します。
<p>未対応のフォーマットを表示することはできません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • メニューで自動補正を選択します。 • メニューで時計とフェーズの位置を調整します。
<p>タッチ機能が無効です</p>	<ul style="list-style-type: none"> • タッチ ドライバがインストールされ、開始されているか確認してください。 • タッチした記事のサイズが指に対応しているか確認してください。
<p>タッチ位置が正しくない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ドライバが正しくインストールされているか確認して、修正してください。 • タッチペンが画面を向いているか確認してください。

画像と音声が出力されない	<ul style="list-style-type: none"> • マシンが起動した状態になっていますか。 • 信号線が正しく繋がれていますか、入力がそれに対応していますか。 • 内部コンピュータ モードの場合は、内部コンピュータが起動します。
横線または縦線、画像のディザリングが生じる	<ul style="list-style-type: none"> • 信号ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 • 別の電子機器または電源ツールがマシンの周囲に設置されていますか。
色がない、色が薄い、画像が薄い	<ul style="list-style-type: none"> • メニューで色度と輝度、またはコントラストを調整します。 • 信号ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
画像は表示されるが、音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • ミュート ボタンが押されていませんか。 • VOL+/VOL- を押して音量を上げます。 • オーディオ ラインが正しく接続されているか確認してください。
1 台のスピーカーからしか音が出ません	<ul style="list-style-type: none"> • メニューでサウンド バランスを調整してください。 • コンピュータのサウンド コントロール パネルが 1 本のサウンド チャンネルのみ設定するようになっていないか確認してください。 • オーディオ ラインが正しく接続されているか確認してください。
VGA 出力でサウンドが出力されません	ヘッドフォン ケーブルで外部デバイスが接続されているかどうか確認してください。